

令和 8 年 度

教 育 要 覧

小川町の教育

小川町教育委員会



町章

●町章について／小川町は、和紙の産地であるので「小」の字を巻紙風に作画し、将来における町勢の力強い飛躍発展を末広がり表現。「川」は住民の和合・円満あわせて清流を象徴したものです。
(昭和50年1月23日制定)

小川町民憲章

わたくしたちの小川町は、恵まれた自然環境の中で、古くから産業をはぐくみ、ゆたかな伝統と歴史をもっています。

わたくしたちは、この町に住むことを誇りとし、力を合わせて、より明るく豊かな住みよい郷土をつくることを誓い、ここに町民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し 環境をととのえ
美しい町をつくりましょう
- 1 きまりを守り 互いに助けあい
明るい町をつくりましょう
- 1 教養を高め スポーツに親しみ
心ゆたかな町をつくりましょう
- 1 勤労をとうとび 産業をおこし
伸びゆく町をつくりましょう
- 1 としよりを敬い 若い力を育て
平和な町をつくりましょう

昭和57年4月28日制定



メジロ (町の鳥)



けやき (町の木)



福寿草 (町の花)

目 次

I	小川町の概要	1
II	小川町教育委員会	2
1	教育委員会	2
2	事務局組織と事務分掌	3
III	令和8年度小川町教育行政重点施策	4～13
IV	教育機関・教育施設	14
1	町立小・中学校	14
2	教育相談室・広域適応指導教室	18
3	学校給食センター	20
4	町立公民館	21
5	町立図書館	27
V	教育関係資料	30
1	小川町教育の沿革	30
2	教育予算等	31
3	児童・生徒数等	34
4	学校医・学校歯科医・学校薬剤師	35
5	各委員会等委員一覧	35
6	スポーツ・文化団体（補助団体）	39
7	小川町内所在の指定文化財	41
8	小川町教育・文化施設等一覧	43
9	おがわまち教育関係施設マップ	44

I 小川町の概要

<沿革>

小川町は埼玉県のほぼ中央部に位置しています。町域の南部と北西部が山地、北東部が丘陵や台地で、槻川・兜川の二河川が西部の山地から東流し盆地を形成しています。山林が町域の6割を占め、市街地は盆地内の中央部に広がっています。

このような自然景観に恵まれた本町は、縄文時代の前期から中期にかけての平松台遺跡をはじめ、槻川・市野川を望む台地上に太古の人々の生活の痕跡を認めることができます。古墳時代になると穴八幡古墳など20基あまりの古墳のほか、数か所の集落跡が確認されています。

奈良・平安時代の遺跡は各所にみられ、町域内に広く人々が住んでいたことがわかります。

鎌倉時代になると、市野川に沿って鎌倉に通じる「鎌倉街道上道」が整備され、その遺構が残されています。文永6年(1269)には、鎌倉の僧仙覚が小川町増尾周辺に比定される比企郡北方麻師宇郷政所において万葉集の注釈書を完成させました。竹沢地区はこのころ竹沢郷と呼ばれ、『太平記』に登場する竹沢氏という武士の領地でした。また、下里・青山板碑製作遺跡は中世に関東地方を中心に広く流通した武蔵型板碑の石材採掘加工遺跡として貴重であり、国の史跡に指定されています。

室町・戦国時代になると、山内・扇谷両上杉氏の抗争がおこり、長享2年(1488)と明応3年(1494)の2回にわたり、高見原の合戦が行われています。こうした中で、腰越・青山・高見・高谷等の山城や砦が築かれました。また、このころの町域は扇谷上杉氏の重臣上田氏の勢力圏となったと考えられ、同氏は小川に在郷していたという記録があります。その後、この地方は後北条氏の領国となり、上田氏もその重臣として松山城(吉見町)の城主となりました。

江戸時代初頭には、奈良梨が大名の諏訪氏の領地となり陣屋を構えましたが、2年後に群馬総社へ移りました。その他の村々は、旗本知行地や幕府直轄領でしたが、幕府直轄領の村々の多くは、のちに旗本知行地に移りました。

また、市街地中心の小川村は、江戸から秩父に至る秩父往還川越通りと八王子から上州に至る道の交差点にあたっていたため、物資の集散地として繁栄し、毎月1と6のつく日に市が立てられました。

このころ、特産物の和紙は漉屋が426軒にも及ぶ一大生産地となり、また小川素麺も近国まで名が知られ、それぞれ仲買商人によって江戸をはじめ各地へ販売されました。

明治22年の市制・町村制施行により、小川町・大河村・竹沢村・八和田村が成立しました。なかでも小川町は人口も多く、産業・商業の町としてだけでなく、郵便局・登記所・警察分署・高等学校・私立銀行2行が設置されるなど、比企西部における中心地として繁栄していました。

昭和30年には、旧4町村の合併により新たに小川町が成立し、翌31年1月に寄居町の一部が編入となり、現在の町域が確定しました。合併時には25,000人前後の人口が、昭和50年代以降大型住宅団地が造られ1万人も急激に増加しました。これにより、学校教育施設も、東小川小学校・みどりが丘小学校・上野台中学校・櫛台中学校と4校が新設されました。しかし、その後の人口減少・少子化の影響により、平成22年度に上野台中学校が東中学校に、令和3年度に東小川小学校が小川小学校にそれぞれ統合されました。さらに、令和7年4月には西中学校と櫛台中学校が統合して、新たに小川中学校が開校しました。

交通機関については、大正12年に東上線、昭和8年に八高線が開通し、東京や各地への便が良くなりました。また、平成16年には関越自動車道に嵐山小川インターチェンジが開通し、県道熊谷小川秩父線バイパスに連絡したことにより、小川町へのアクセスが飛躍的に向上して、平成21年秋には本田技研工業(株)埼玉製作所小川エンジン工場が操業を開始するなど、町内に企業が進出しています。さらに、令和8年2月には、都市計画道路環状1号線が一部開通しています。

一方で、和紙・建具・裏絹・酒など特産物の多い本町では、平成2年に埼玉伝統工芸会館を建設し、現在は、小川和紙をはじめとした町内の伝統工芸品の展示や体験ができる地域振興施設として、令和7年5月に道の駅おがわまちがリニューアルオープンしています。

小川町は京都に地形が似ているばかりでなく、槻川下流には京都嵐山を思わせる峡谷や南西の都幾山には比叡山延暦寺になぞられる県内屈指の古刹慈光寺があります。また、特産物の小川絹は、以前京都へも出荷され、染色も行われました。そのため、昔から武蔵の小京都と呼ばれており、平成8年には全国京都会議に加入しました。

平成26年、小川町・東秩父村で継承されてきた「細川紙」は、島根県の「石州半紙」、岐阜県の「本美濃紙」とともに「和紙：日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。平成29年6月議会で、その登録が決定された11月27日を「小川和紙の日」と定める条例が制定されました。

<位置>

小川町は、東京都心から60kmに位置しており、東は嵐山町、西は東秩父村、南はときがわ町、北は寄居町と隣接しています。なお、町役場の位置は、東経139度15分42秒、北緯36度3分23秒、海拔90.99mです。

<人口及び面積>

令和8年5月1日現在

人口(男・女(人))	世帯数	面積(k㎡)	人口密度(1k㎡当たり)
26,863(男13,391・女13,472)	13,139	60.36	445

Ⅱ 小川町教育委員会

1 教育委員会

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、町の教育等に関する事務を管理執行する機関として設置され、町が処理する教育・スポーツ・文化財の保護等に関する事務を管理し執行します。

教育委員会は教育長と4人の委員で構成され、会議は毎月の定例会のほか臨時会、町長の招集による総合教育会議が開かれます。また町教育行政に関する調査研究をはじめ種々の活動に取り組んでいます。



教育長

市川俊実



教育長
職務代理者

峯岸貴明



委 員

吉田徳匡



委 員

田中奈津子



委 員

杵田和子

職 名	氏 名	現在の任期
教育長	いちかわとし み 市 川 俊 実	令和 7 年 4 月 1 日 令和 9 年 3 月 3 1 日
教育長 職務代理者	みねぎしたかあき 峯 岸 貴 明	令和 4 年 1 0 月 1 日 令和 8 年 9 月 3 0 日
委 員	よしだのりまさ 吉 田 徳 匡	令和 7 年 1 月 1 日 令和 1 0 年 1 2 月 3 1 日
委 員	たなか な つ こ 田 中 奈 津 子	令和 7 年 1 0 月 1 日 令和 1 1 年 9 月 3 0 日
委 員	すぎた かずこ 杵 田 和 子	令和 5 年 1 0 月 1 日 令和 9 年 9 月 3 0 日

会議の開催状況（令和7年度）

月 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会													0
総合教育会議				1			1						2

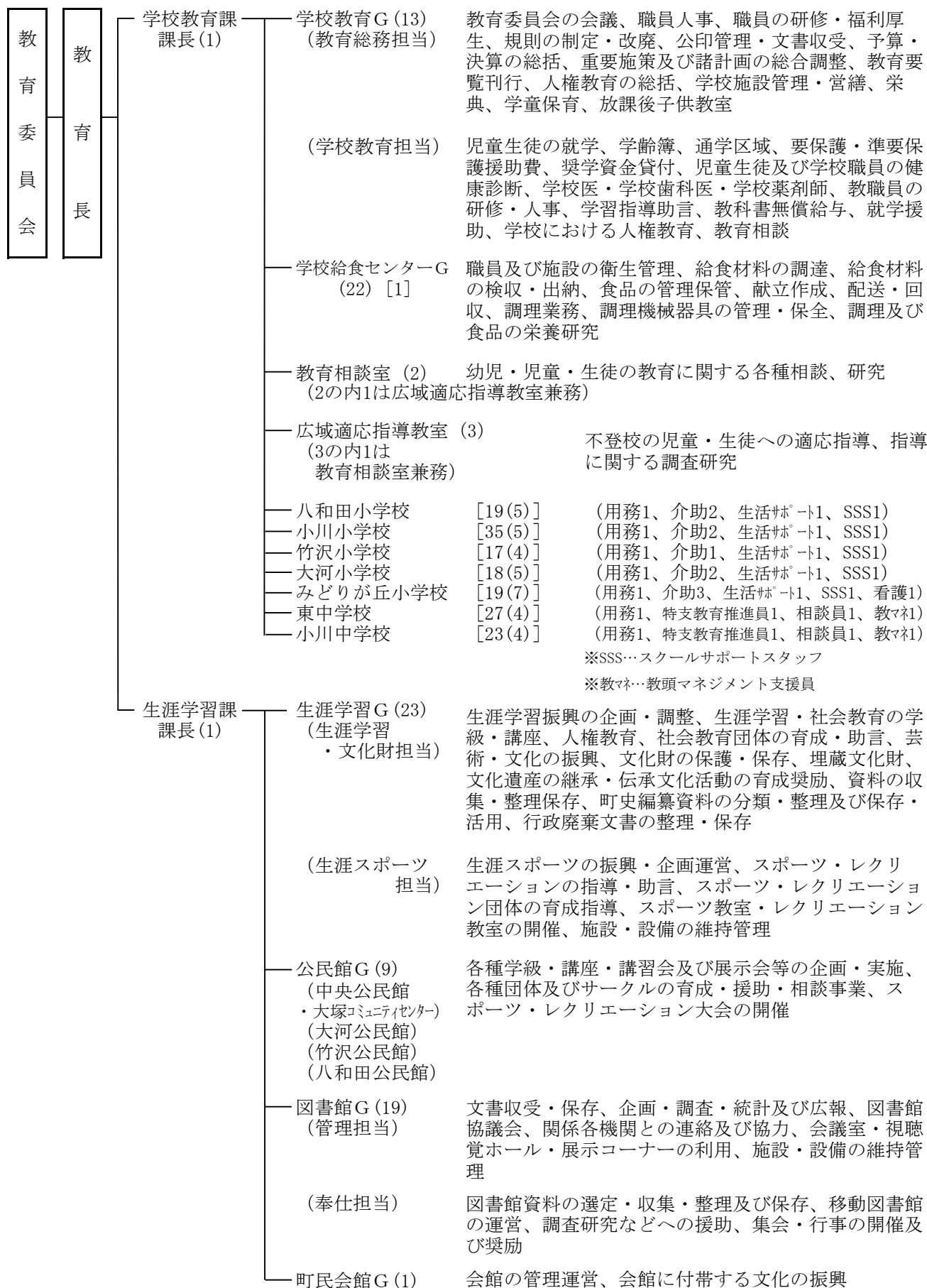
2 事務局組織と事務分掌

(令和8年5月1日現在)

() は町職員数 (会計年度任用職員を含む)

[] は県費職員数

[()] は県費教職員数、() は町職員内数



Ⅲ 令和8年度小川町教育行政重点施策

令和8年度小川町教育行政重点施策

小川町教育委員会は、教育基本法の精神に則り、人間尊重の理念を踏まえ、予測困難な時代を生きる子供たちに、多様な学びの実践を通して「たくましく生き抜く力」を育みます。

また、町民一人一人が障害にわたって自己啓発と多様な学習活動を行うことができる環境づくりを推進します。

令和8年度より、「小川町第6次総合振興計画」がスタートします。計画では、町の将来像として「自然の恵みと文化を未来につなぐ、人が輝くまち おがわ」がうたわれ、「教育・文化の振興」についての基本目標として「豊かな心をはぐくむまち」を掲げています。

小川町教育委員会では、基本目標の実現を目指して「自立と自尊の教育～ふるさとを愛し、自己と他者を尊び、生きがいを広げる町～」を基本理念に掲げ、8つの施策の柱を設定し、各施策の確実な遂行に取り組んで参ります。

*** 基 本 理 念 ***

自立と自尊の教育

ふるさとを愛し、自己と他者を尊び、生きがいを広げる町

*** 8つの施策の柱 ***

- 1 生涯を通した多様な学習活動の推進
- 2 生きる力を育み、確かな学力を身につける学校教育の推進
- 3 多様なニーズに対応した教育の推進
- 4 豊かな心と健やかな体を育み、人権を尊重する教育の推進
- 5 質の高い学校教育を推進するための環境の充実
- 6 家庭・地域の教育力の向上
- 7 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造
- 8 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

1 生涯を通した多様な学習活動の推進

生涯学習推進計画の趣旨を踏まえ、計画の着実な推進を図り、「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」が生涯を通じて学び続けられるよう多様な学習拠点づくりを進めます。

(1) 生涯学習推進体制の確立

- ①第4次小川町生涯学習推進計画の着実な推進
- ②生涯学習推進計画、推進体制の強化
- ③生涯学習情報の収集、提供及び相談体制の充実

(2) 生涯学習の拠点づくり

- ①公民館・図書館等、生涯学習拠点の整備と効率的な機能の充実
- ②生涯学習施設の連携
- ③学校統合に伴う遊休施設の活用を検討



公民館運営審議会

(3) 生涯学習プログラムの充実

- ①各種講座・教室の充実
- ②家庭教育支援の推進
- ③各年代に応じた生涯学習機会の充実

(4) 生涯学習リーダーの育成

- ①生涯学習活動全般に係る指導者の確保と育成



町民大学おがわ スポーツ講演会

(5) 社会教育関係団体等への支援と連携

- ①社会教育関係団体・ボランティア団体への支援と連携
- ②部活動の地域展開に向けた各スポーツ団体等との連携体制の構築
- ③小川高校・提携大学との更なる連携体制の強化



小川町子ども会連絡協議会 農業体験



小川町スポーツ少年団 七夕まつり飾り付け

2 生きる力を育み、確かな学力を身に付ける学校教育の推進

児童生徒を誰一人取り残すことなく、自ら学ぶ力の醸成と、確かな学力の定着を目指す教育を推進し、多様化する社会で「たくましく生き抜く力」を育みます。また、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進し、郷土を愛する心と地域が抱える課題を解決する能力を醸成し、「ふるさと・おがわ」を支える人材の育成に努めます。

(1) 確かな学力の育成

- ①一人一人の学力を伸ばす教育の推進
- ②教職員研修の充実
- ③新しい時代に求められる資質・能力の育成
- ④埼玉県学力・学習状況調査等の分析とその活用



「ICTを活用した」授業風景

(2) 自立し、生きる力の育成

- ①言語活用能力の育成
- ②学校におけるキャリア・職業教育の充実
- ③新たな「おがわ学」の推進
- ④体験活動の充実



代かきの様子（特色のある教育課程の編成）



福祉体験活動



「おがわ学」授業風景

(3) 伝統と文化を尊重し、グローバル化に対応する教育の推進

- ①国際理解教育と英語教育の推進
- ②地域の伝統と文化を尊重する教育の推進

3 多様なニーズに対応した教育の推進

教育を取り巻くニーズの多様化に伴い、児童生徒が持つ意欲や能力、状況に合わせて、最適な学びの機会と支援を提供する教育が求められています。人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会の実現に向けて、特別支援教育、不登校対応、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応等、個々の違いを尊重し、それぞれの可能性を最大限に引き出す教育を目指します。

(1) 不登校児童生徒への支援

- ①不登校支援体制の充実
- ②適応指導教室との連携
- ③教育相談活動の推進

(2) 障害のある児童生徒への指導・支援

- ①連続性のある多様な学びの場の充実
- ②個に応じた支援の充実
- ③特別支援教育を担う教職員の育成



広域適応指導教室授業風景

(3) 一人一人の状況に応じた支援

- ①発達を踏まえたアセスメントに基づく適切な指導・支援
- ②専門家等と連携した組織的な校内支援体制の推進
- ③共生社会の実現に向けた交流及び共同学習の推進

4 豊かな心と健やかな体を育み、人権を尊重する教育の推進

児童生徒の心身の発達段階に合わせて、社会生活・学校生活を円滑にかつ充実して営むことができるよう心豊かな人間性を育む教育を推進します。

また、様々な人権課題への対応や課題解決に向け、多様な教育活動・啓発活動をとおして、すべての町民の人権感覚を醸成し、人権尊重の精神を培う教育の推進に努めます。

(1) 豊かな心を育む教育の推進

- ①道徳教育の充実
- ②自然体験活動等、体験的な学習の推進
- ③読書活動の推進

(2) 人権尊重の精神を培う教育の推進

- ①生涯を通した人権教育の推進
- ②いじめ防止対策の推進と生徒指導体制の強化
- ③体罰の根絶等、人権に配慮した教育の推進
- ④インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育の充実
- ⑤人権教育研修会の実施・充実

（３）男女共同参画社会の実現に向けた教育の推進

- ①「第４次おがわ男女共同参画推進プラン」に基づく教育の推進
- ②男女共同参画に関する広報・啓発の充実
- ③学校における、男女共同参画に関する教育の充実



人権教育の推進



性に関する指導 授業風景

５ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

児童生徒の良さを引き出し伸ばす教育ために、教育委員会と学校が協働し、様々な研修や人事評価制度等の活用により、教職員の資質向上を推進します。

また、持続可能で児童生徒にとって望ましい学校教育を実現するために、町立小中学校の再編を進め、教育環境の改善等を行い、安全・安心な学習環境の整備充実を図ります。

（１）町立小中学校再編の着実な推進

- ①学校再編計画の周知と計画的な実施
- ②統合準備委員会の開設と運営

<小川町立小中学校の再編スケジュール>

- ① **令和9年4月1日**
 - 竹沢小学校と大河小学校を統合し、旧西中学校の位置におがわ西小学校を設置する
- ② **令和11年4月1日**
 - 八和田小学校と小川小学校を統合し、小川小学校の位置におがわ東小学校を設置する
- ③ **令和11年4月1日**
 - みどりが丘小学校をおがわ西小学校に統合する
- ④ **令和12年4月1日**
 - 東中学校を小川中学校に統合する

(2) 教職員の資質・能力の向上

- ①授業力を高める授業研修会の実施
- ②力量ある教職員の育成

(3) 学習環境の整備・充実

- ①児童生徒の安全・安心の確保
- ②学習環境の整備・充実
- ③学童クラブの新設
- ④放課後子供教室と学童クラブとの校内交流型による取組の推進
- ⑤学校給食センター新設に向けた総合的な準備
- ⑥集約化された小学校の体育館・プール等、施設のあり方検討

6 家庭・地域の教育力の向上

基本的な生活習慣をはじめとして、倫理観や自制心、自立心などの非認知能力を高めることで、変化の激しい社会を生き抜く力の基礎を育みます。

また、地域活動や行事・ボランティア活動等への参加を通じて、子どもたちが地域の一員として育つ教育活動の支援に努めます。

(1) 家庭教育支援体制の充実

- ①家庭教育力向上のための学習機会の充実
- ②地域と連携協働した教育の推進

(2) 地域の教育支援体制の充実

- ①学校安全、防犯体制の強化・充実
- ②コミュニティスクール運営の充実
- ③放課後子供教室事業の推進



じゃがいも植え（地域と一体になった児童育成）

(3) 地域での体験活動の充実

- ①休日における部活動の地域展開の計画的推進
- ②自然体験活動の推進
- ③地域における、文化・スポーツ活動の推進

(4) 児童生徒の読書活動の推進

- ①読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備
- ②読書推進事業の啓発・広報の推進



放課後子供教室



小川町認定地域クラブ「小川 FC」活動風景（部活動地域展開事業）

7 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造

当町には長い歴史と伝統の中から生まれた豊かな文化と文化財が多数存在します。これらの保存・継承・活用により、人が輝くまちの形成に努めます。

また、文化・芸術活動の発表や交流の場を広く町民に提供するとともに、自主的な文化・芸術活動の支援と地域文化活動の促進に努めます。さらに、ユネスコ無形文化遺産である細川紙への理解を衆知するとともに、紙漉き技術の伝承に努め、新しい「和紙のふるさと」文化の創造を推進します。

(1) 伝統文化の継承と活用

- ①小川和紙文化の継承と活用
- ②伝統文化の継承と活用
- ③令和9年度全国重要無形文化財保持団体協議会
小川・東秩父大会開催に向けた取組の推進



細川紙継承者養成

(2) 文化財等の保存と活用

- ①適切な保存による、次世代への継承
- ②積極的な公開・活用による町民理解の深化
- ③文化財関係施設整備の実施
- ④広域的な文化財交流の促進



下里・青山板碑製作遺跡(割谷地区)事業



腰越城跡

(3) 町民文化活動の支援

- ①イベントの開催支援
- ②資料の活用・情報提供



歴史講座「小川和紙の魅力を知り、伝えよう

～細川紙ユネスコ無形文化遺産登録十周年～

町史・文化財頒布刊行物一覧 (頒布場所 教育委員会・生涯学習課、むすびめ)

No.	刊行物の名称	頒布価格	備考	No.	刊行物の名称	頒布価格	備考
1	小川町のあゆみ	2,000 円		12	小川町の自然 地質編	3,500 円	
2	小川町の歴史 通史編上巻	3,000 円		13	小川町の自然 植物編	3,500 円	
3	小川町の歴史 通史編下巻	3,000 円		14	小川町の自然 動物編	3,500 円	
4	小川町の歴史 資料編 1 考古	3,800 円		15	絵図で見る小川町	2,000 円	
5	小川町の歴史 資料編 2 古代・中世 I	3,000 円		16	墓石調査報告書	2,000 円	残部なし
6	小川町の歴史 資料編 3 古代・中世 II	3,800 円		17	小川町の文化財	800 円	残部なし
7	小川町の歴史 資料編 4 近世 I	3,800 円		18	小川町の石造物	2,000 円	
8	小川町の歴史 資料編 5 近世 II	3,800 円		19	重要文化財吉田家住宅	1,000 円	
9	小川町の歴史 資料編 6 近代	3,800 円		20	「万葉集」と仙覚律師と小川町 改訂版	100 円	
10	小川町の歴史 資料編 7 近代・現代	3,800 円		21	下里・青山板碑石材採掘遺跡群 割谷採掘遺跡報告書	1,000 円	
11	小川町の歴史 民俗編	3,800 円					



小川町史

8 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

町民一人一人の心身の健康と明るく豊かな生活を実現するためには、生涯にわたって健康に対する関心を持ち、積極的に運動に親しむことが必要です。

このため、広く町民があらゆる機会を通じ、いつでも・どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境・体制づくりを進めるとともに、体力づくりに対する関心を高め、体力の向上、健康の保持・増進が図られるよう努めます。

(1) 健康増進とスポーツ活動の充実

- ①健康・体力づくり事業の推進
- ②広報等、啓発活動の推進

(2) スポーツ推進体制の充実

- ①地域スポーツ・レクリエーションの推進
- ②各団体・スポーツ推進委員との連携体制の構築
- ③部活動地域展開の計画的推進

(3) スポーツ施設の整備充実と開放

- ①社会体育施設の整備
- ②学校体育施設開放の推進



第 34 回小川和紙マラソン大会ポスター

第 33 回小川和紙マラソン大会種目別申込者数

種目	人 数		人 数	種 目	人 数
ハーフ 一般男子	3 2 1	1 0 K 一般男子	8 4	2K 中学男子	5 2
ハーフ 男子 40 歳代	3 4 2	1 0 K 男子 40 歳代	8 0	2K 中学女子	2 6
ハーフ 男子 50 歳代	4 0 3	1 0 K 男子 50 歳代	1 0 3	2K 小学男子	1 1 7
ハーフ 男子 60 歳以上	2 5 5	1 0 K 男子 60 歳以上	1 3 1	2K 小学女子	8 1
ハーフ 一般女子	1 0 2	1 0 K 一般女子	9 1	2K 親子(128 組)	2 6 4
ハーフ 女子 50 歳以上	8 7	1 0 K 女子 50 歳以上	6 1		
				合 計	2, 6 0 0



ハーフマラソン スタートの様子

令和 8 年度スポーツ教室

No.	教室名	定 員	開催場所	期 日	回数
1	はじめてのスポーツ体験教室	小学生 15 名	小川町内小学校 等	4/19～5/31 毎週日曜日 5/3 を除く	6 回
2	はじめての太極拳教室	一般15名	町立武道館	5/15～6/12 毎週金曜日	5 回
3	弓道教室	高校生以上 6 名	町立武道館	5/23～7/4 土曜日 6/13 を除く。6/27 中止。	5 回
4	ゴルフ教室	一般15名	ファーストレイト ゴルフ練習場	6/5～7/3 毎週金曜日	5 回
5	ポッチャ体験教室 (中止)	一般 12 名	小川小学校体育館	6/6 土曜日	1 回
6	モルック体験教室	小学生以上 12 名	リリックおがわ	6/10 水曜日	1 回
7	ソフトテニス教室	小学生以上20名	総合運動場 テニスコート	7/12、8/2、8/9 日曜日	3 回
8	卓球教室	小学生以上20名	旧西中学校体育館	5/31～6/28 毎週日曜日 6/7 を除く。	4 回
9	バドミントン教室	一般 20 名 (中高生を除く)	小川小学校体育館	8/29～9/26 毎週土曜日	5 回
1 0	ふらば～る バレーボール教室	一般 15 名 (中高生を除く)	大河小学校体育館	8/31～9/14 毎週月曜日	3 回
1 1	親子カンフー教室	親子 6 組	八和田小学校体育館	9/5、9/19 土曜日	2 回
1 2	スポーツウエルネス吹矢教室	一般 10 名	竹沢公民館大会議室	9/5～9/19 毎週土曜日	3 回
1 3	親子ポッチャ教室	親子 12 組	小川小学校体育館	9/13 日曜日	1 回
1 4	硬式テニス教室	一般 15 名	総合運動場 テニスコート	10/18～11/22 毎週日曜日 11/1 を除く。予備日 11/29、 12/6。	5 回
1 5	陸上教室	小学生 10 名	小川小学校 グラウンド	10/24～11/14 毎週土曜日 11/7 を除く。予備日 11/21。	3 回
	町民・ジュニアスキー教室	小、中学生 ファミリー・一般 合計 20 名	群馬県かたしな高原	2/13 土曜日	1 回



社会体育施設利用（はじめての太極拳教室）



学校体育施設開放（はじめてのスポーツ体験教室）

IV 教育機関・教育施設

1 町立小・中学校



小川町立八和田小学校

所在地 小川町大字上横田527番地
TEL 72-3130 FAX 74-5162

校長 原 真 佐 巳
教頭 児 玉 暁 直



教育目標

◎ やさしい子 ◎わかるまで学ぶ子 ◎たくましい子

特色

- ・知・徳・体のバランスのある教育活動の推進
- ・学校生活目標と関連したあいさつの取組
- ・児童理解研修の実施による積極的な生徒指導の推進
- ・個別面談や教育相談を通じた児童理解の推進
- ・たてわり班を生かした特別活動の充実
- ・特別支援教育の視点を生かした授業方法の推進
- ・総合的な学習の時間等における体験学習（田植え等）の実施

1. 【学校の現況】5月1日現在
校地面積 12,434㎡ 校舎敷地 4,675㎡ 運動場面積 7,759㎡
校舎面積 3,466㎡ 屋体面積 719㎡
児童数 104 学級数 8 教員 14 養護 1 県事務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・明治7年 2月 上横田小学校を輪禅寺に開校
- ・ 11年 7月 中爪村に東野平学校を創設し、分離
- ・ 14年 3月 能増村に市野川学校を創設し、分離
- ・ 19年 4月 上横田・東野平・市野川の3校を合併し、文明小学校と改称
- ・ 42年 5月 八和田尋常高等小学校と改称
- ・昭和50年3月 開校100周年記念誌刊行
- ・ 55年 7月 校舎改築
- ・ 59年10月 県教委委嘱体力向上研究発表
- ・平成6年 9月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年 7月 プール循環パイプ・ろ過装置の改修
- ・ 11年 3月 障害者（児）用スロープ設置（3箇所）
- ・ 12年 3月 プール改修
- ・ 13年 3月 障害者（児）用スロープ設置（体育館から図工室）
- ・ 5月 コンピュータ機器更新 10月 給食用エレベータ設置
- ・ 15年 4月 文部科学省『地域ぐるみの学校安全推進モデル事業』委嘱
- ・ 18年 8月 校舎1階廊下の滑り止め工事
- ・ 12月 校舎階段下アスベスト囲い込み工事
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置 屋内運動場耐震補強工事
- ・ 3月 図書室エアコン設置
- ・ 23年 3月 校庭入口に馬蹄柵設置
- ・ 26年 2月 開校140周年記念行事実施 8月 教室エアコン設置
- ・ 28年 1月 『道徳と特別活動の教育研究賞』論文が団体の部で最優秀賞を受賞
- ・ 29年 8月 トイレ部洋式化
- ・ 11月 学校応援団「埼玉・教育ふれあい賞」受賞
- ・ 30年 6月 プールろ過装置の更新
- ・令和元年6月 特別教室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備
- ・ 4年 3月 シャワールーム設置
- ・ 6年 2月 開校150周年記念行事実施



小川町立小川小学校

所在地 小川町大字小川377番地
TEL 72-0142 FAX 74-5163

校長 小 林 聡
教頭 横 山 大 輔



教育目標

- ◎ 優しい子
相手の気持ちに寄り添える子
- ◎ 考える子
めあてを持って自ら学ぶ子
- ◎ 元気な子
よく遊び、よく食べる子

特色

- ・「特別的教育課程」の編成及び実施
- ・安心・安全な学校づくり ～地域とともに～
- ・『挨拶』と『歌声』が響き合う学校
- ・学びの質の向上 ～『おがわ学』の充実～
- ・特別支援教育の充実
- ・小・中・高との積極的な連携
- ・青少年赤十字活動を取り入れた奉仕活動の推進

1. 【学校の現況】5月1日現在
校地面積 24,230㎡ 校舎敷地 11,616㎡ 運動場面積 12,614㎡
校舎面積 6,248㎡ 屋体面積 1,457㎡
児童数 321 学級数 16 教員 27 養護 1 県事務 1 栄養教諭 1

2. 【学校の沿革概要】

- 明治 5年 9月 （仮学校）霜里学校を西光寺に開校
- ・ 6年 8月 大河原学校を西光寺に正式開校
- ・ 7年 8月 民家に借家移転
- ・ 15年10月 校舎（洋風建築）新築移転
- ・ 22年 6月 尋常小学小川小学校と改称
- ・ 41年 7月 小川第一尋常小学校と改称
- ・ 43年 7月 大塚55番地に校舎新築移転
- ・昭和35年7月 個人からプール寄贈（大塚氏） 41年 2月 全国書初展優秀校
- ・ 42年10月 学校給食運営優良校として表彰
- ・ 46年12月 全日本ロード合奏大会器楽部金賞
- ・ 53年 9月 現在地に校舎新築移転 55年 9月 NHK全国音楽コンクール県代表
- ・平成元年11月 学校誌刊行
- ・ 2年10月 体力向上研究発表
- ・ 7年 8月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年10月 校庭散水設備設置
- ・ 10年 9月 児童棟外壁の改修
- ・ 12年10月 プール改修工事
- ・ 13年 2月 学校歯科保健コンクール優良校として表彰
- ・ 14年 1月 東門設置
- ・ 15年 2月 学校歯科保健コンクール（県・優良校比企優秀校）表彰
- ・ 4月 下里分校休校 通級指導教室（言語・難聴）の開設
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置 3月 図書館エアコン設置
- ・ 23年 3月 下里分校廃校 12月 児童棟耐震補強工事
- ・ 25年 2月 管理棟・体育館耐震補強工事
- ・ 27年11月 県教育委員会委嘱による食育教育に関する研究発表
- ・ 28年 1月 教室エアコン設置
- ・ 30年 2月 トイレ部洋式化
- ・ 30年11月 コンピュータ機器更新
- ・令和元年6月 特別教室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備
- ・ 4年 4月 東小川小学校統合
- ・ 4年12月 校舎外壁工事
- ・ 5年 3月 開校150周年記念式典
- ・ 8年 3月 校庭照明LED化



小川町立竹沢小学校

所在地 小川町大字木部90番地
TEL 73-1345 FAX 74-5165

校長 赤松 武
教頭 秦 健太郎



教育目標

◎ やさしく ◎ かしこく ◎ たくましく

特色

一人一人を大切にし 学びたいを育む 元気な学校

- ・ 縦割り活動の充実
- ・ 特別支援教育の視点に立つ教育実践
- ・ わかる授業の実践
- ・ 食育活動の推進
- ・ 体育的活動の充実

学校研究課題

多様な他者と協同する力を育む児童の養成
～学級経営の充実と算数科の学力向上を目指して～

1. [学校の現況] 5月1日現在

校地面積 13,447㎡ 校舎敷地 5,861㎡ 運動場面積 7,586㎡
校舎面積 3,635㎡ 屋体面積 1,070㎡
児童数 58 学級数 8 教員 13 養護 1 県事務 1

2. [学校の沿革概要]

- ・ 明治 7年 1月 竹沢学校を靱負村民家に開校
- ・ 13年 勝呂村民家に借家移転
- ・ 23年 4月 木部安照寺に移転
- ・ 34年12月 現在地に校舎新築移転
- ・ 大正 9年 4月 竹沢尋常高等小学校と改称
- ・ 昭和30年 2月 竹沢小学校と改称 33年 7月 校舎新築
- ・ 43年 6月 県教委委嘱学校管理研究発表
- ・ 44年 3月 校歌制定
- ・ 49年 3月 体育館新築 5月 開校100周年事業開催
- ・ 平成 4年 2月 校舎新築 6月 プール新築
- ・ 5年 2月 コンピュータ機器設置 3月 体育館新築
- ・ 10年 5月 校舎前斜面緑化リニューアル
- ・ 17年 2月 浄化槽ブロー改修工事 7月 教育用コンピュータ機器更新
- ・ 20年 3月 埼玉県環境緑化コンクール良好校受賞
- ・ 20年 5月 竹沢中学校記念碑除幕式及び供養塔を移築
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 25年 5月 プール改修工事(塗装)
- ・ 26年 9月 教室エアコン設置
- ・ 27年11月 県教委委嘱「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業の研究発表
- ・ 29年 8月 児童用・職員用トイレ部洋式化
- ・ 30年10月 タブレット型PCへ20台入替
- ・ 令和元年 6月 特別教室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備
- ・ 5年12月 開校150周年記念式典



小川町立大河小学校

所在地 小川町大字腰越209番地
TEL 72-0068 FAX 74-5166

校長 宮澤 忍
教頭 瀧澤 彰滋



教育目標

- ◎ 自ら学ぶ子
進んで学ぶ子 学び合う子
- ◎ やさしい子
相手の気持ちを考え、思いやりの心をもった子
- ◎ たくましい子
よく遊び、よく運動し、よく働く子

特色

- ・ 学力向上のための3つの取組
- ・ 縦割り活動による好ましい人間関係づくり
- ・ 潤いのある自然環境の積極的活用
- ・ 地域ぐるみの防犯体制の充実

1. [学校の現況] 5月1日現在

校地面積 20,499㎡ 校舎敷地 12,529㎡ 運動場面積 7,970㎡
校舎面積 5,615㎡ 屋体面積 1,400㎡
児童数 152 学級数 8 教員 14 養護 1 県事務 1

2. [学校の沿革概要]

- ・ 明治6年11月 金橋学校・古寺学校開校
- ・ 16年12月 金橋学校校舎を増尾村民家に移転
- ・ 25年10月 金橋学校を第一尋常小学校、古寺学校を第二尋常小学校の編制に改める
- ・ 35年 1月 第一大河尋常小学校、第二大河尋常小学校を廃し、校舎を新築し大河尋常小学校として開校する(開校記念日)
- ・ 35年 4月 青山・古寺・腰越に分教場設置
- ・ 昭和8年 5月 校舎新築 13年 3月 個人から講堂寄付される
- ・ 22年 4月 大河小学校と改称 39年10月 プール新築
- ・ 54年 3月 青山分校廃校 57年 6月 校舎新築
- ・ 58年 3月 古寺分校廃校 59年11月 創立111周年記念式典
- ・ 平成元年11月 緑化コンクール良好校
- ・ 6年11月 県教委委嘱特殊教育研究発表
- ・ 7年12月 コンピュータ機器設置
- ・ 11年 3月 「ふるさと大河」展示室開設
- ・ 14年 1月 正門門扉設置 3月 櫟2世植樹・二宮尊徳像移設
- ・ 12月 県算数数学教育研究会・小川町教委委嘱発表
- ・ 19年 3月 腰越分校廃校
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置 3月 図書館エアコン設置
- ・ 24年 4月 通級指導教室(特別教室)新設 10月 校歌歌碑除幕
- ・ 26年 4月 「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業協力校
- ・ 27年 2月 「考え、話し合い、学び合う学習」授業研究会・発表会
- ・ 28年 1月 普通14教室エアコン設置
- ・ 29年 8月 トイレ部洋式化
- ・ 30年 2月 第64回埼玉県学校歯科保健コンクール優良校(5年連続)
- ・ 30年 2月 加メ「凜々子」賞受賞
- ・ 11月 埼玉県交通安全協会「交通安全優良校」
- ・ 令和元年6月 音楽室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備
- ・ 5年 2月 第69回埼玉県学校歯科保健コンクール入選校
- ・ 5年12月 開校150周年記念行事
- ・ 8年 4月 教育課程柔軟化サキドリ研究校に指定



小川町立みどりが丘小学校

所在地 小川町みどりが丘4丁目21番地1
TEL 74-4381 FAX 74-5169

校長 船田 真由美
教頭 島本 好基



教育目標

夢と希望に挑戦する子

- ◎すすんで学ぶ子
- ◎心豊かな子
- ◎たくましい子

教育ビジョン

笑顔あふれる元気な学校

～すべては子供たちのために、すべての子供たちのために～

- 「Chance×Challenge=Change!」笑顔の数だけ成長がある
- 一人一人の可能性を信じ、挑戦する姿を応援する

学校研究課題

「自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成」

～主体的に学び、伝え合う楽しさを実感する授業作りを通して～

1. 【学校の現況】 5月1日現在

校地面積 31,420㎡ 校舎敷地 19,906㎡ 運動場面積 11,514㎡
校舎面積 4,919㎡ 屋体面積 1,113㎡
児童数 139 学級数 8 教員 13 養護 1 県事務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・平成 3年 4月 小川小学校から分離し、みどりが丘小学校として校舎新築、開校
- ・ 7月 プール新築 9月 校章制定 11月 校歌・校旗制定
- ・ 4年 3月 体育館新築 落成式典挙行
- ・ 6年 3月 西校舎増築 7月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年 4月 学区変更により、角山上・中地区が加わる
- ・ 9年 6月 「オオムラサキの森」完成 シュート板の設置
- ・ 11年 6月 生活科用砂場設置
- ・ 13年 5月 コンピュータ、インターネット接続
- ・ 14年 1月 正門門扉設置 8月 校庭南側雨水調整擁壁設置
- ・ 15年 8月 校庭散水機設置
- ・ 17年 4月 元気な学校をつくる地域連携推進事業県教育委員会指定(17～18年度)
- ・ 18年 6月 小学校体育授業研究委嘱 小川町教育委員会(18～19年度)
- ・ 19年 5月 小学校体育授業研究校 県教育委員会指定
- ・ 20年 4月 通級指導教室(発達・情緒)設置
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置 3月 図書室エアコン設置
8月 音楽室床改修工事 11月 開校20周年記念式典挙行
- ・ 26年 9月 教室エアコン設置
- ・ 27年 4月 いじめ防止のための望ましい人間関係づくり研究推進校委嘱、埼玉県教育委員会
- ・ 29年 8月 トイレ一部洋式化
- ・ 31年 1月 給食用エレベータ更新
- ・令和 元年 4月 学校運営協議会開催 5月 放課後子供教室開設
6月 特別教室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備



小川町立東中学校

所在地 小川町大字小川1767番地1
TEL 72-0442 FAX 74-5170

校長 沼野 友宏
教頭 保泉 耕司



教育目標

「自尊感情を育み、夢と希望に挑戦する生徒の育成」

- ◎ 進んで学ぶ生徒
- ◎ 心豊かな生徒
- ◎ 身体をきたえる生徒

学校像

笑顔・感動・挑戦する精神にあふれ、家庭・地域から愛される学校

校訓 より深く より強く より美しく

1. 【学校の現況】 5月1日現在

校地面積 47,304㎡ 校舎敷地 14,400㎡ 運動場面積 32,904㎡
校舎面積 5,762㎡ 屋体面積 1,486㎡
生徒数 252 学級数 9 教員 23 養護 1 県事務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・昭和43年 4月 小川中学校と八和田中学校を統合し、東中学校として開校
- ・ 45年 3月 現在地へ校舎新築、移転
- ・ 46年 3月 体育館落成
- ・ 49年 5月 プール竣工 57年10月 県教委委嘱体力向上研究発表
- ・ 61年 3月 校舎棟増築・テニスコート5面改修 62年10月 文部省委嘱道徳研究発表
- ・平成元年 8月 校庭全面改修
- ・ 5年 9月 コンピュータ教室設置 10月 体育館・管理棟大規模改修
- ・ 7年 8月 校舎棟大規模改修 11月 県教委委嘱同和教育研究発表
- ・ 9年 9月 さわやか相談室設置 11月 開校30周年記念式典挙行
- ・ 10年 8月 防球ネット新設
- ・ 11年11月 部室棟改築
- ・ 12年 4月 東中校区「地域ぐるみの教育」県教委研究委嘱
- ・ 13年 4月 東中校区「家庭・学校・地域ふれあい推進事業」県教委研究委嘱
- ・ 14年 8月 校地内舗装工事
- ・ 16年12月 全国中学校駅伝競走大会出場
- ・ 17年 9月 県教委中学校体育授業研究委嘱
- ・ 18年 4月 下水道工事
- ・ 22年11月 25地区進路指導・キャリア教育研究発表 耐震補強工事(生徒棟)
- ・ 23年 2月 耐震補強工事(管理棟) 4月 上野台中学校統合
- ・ 25年12月 校地内フェンス改修
- ・ 28年 1月 教室エアコン設置
- ・ 29年 4月 「次代に語り継がれる」創出事業」県教委研究委嘱(h29～30年度)
- ・ 29年11月 開校50周年記念式典挙行
- ・ 30年 2月 JOCオリンピック教室開催 トイレ一部洋式化
- ・ 12月 全国中学校駅伝競走大会出場 第14位
- ・令和元年 6月 特別教室エアコン設置
- ・ 3年 3月 GIGAスクール校内LAN環境整備
- ・ 4年 5月 「授業時数の弾力化に係るモデル校事業」県教委研究委嘱(R4～5年度)
- ・ 5年 2月 GIGAスクール体育館LAN環境整備



小川町立小川中学校

所在地 小川町大字角山1192番地
TEL 72-1192 FAX 74-1102

校長 大野 光男
教頭 星野 直輝



1. **【学校の現況】** 5月1日現在
校地面積 34,340㎡ 校舎敷地 13,325㎡ 運動場面積 21,015㎡
校舎面積 5,474㎡ 屋体面積 1,223㎡
生徒数 203 学級数 8 教員 18 養護 1 県事務 1

2. **【学校の沿革概要】**

- ・令和 7年 4月 西中学校と櫛台中学校が統合し、旧櫛台中学校の場所に小川中学校を開校
- ・令和 7年11月 開校記念式典挙行

小川町教育委員会メッセージ 「校章に寄せて」



教育目標

「自ら学び 磨き、鍛え、未来を拓く生徒」

- ◎ 自ら学び互いに高め合う生徒
- ◎ 心を磨き人を思いやる生徒
- ◎ 進んで心身を鍛えるたくましい生徒

めざす学校像

生徒の夢が膨らみ、笑顔と感動にあふれ、地域に信頼される学校

- 「夢」：生徒が夢や目標をもち、自らその達成に向けて取り組む学校
- 「笑顔」：生徒一人一人がお互いを思いやり、仲良く笑顔で過ごせる学校
- 「感動」：生徒が主体的に取り組み、達成感や成就感を味わえる学校

学校研究課題

確かな学力の育成 —「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり—

私達の暮らす小川町は、山々からの水に恵まれ、古来より楮を原料に和紙が漉かれ、その技術は、およそ1,300年にも渡り、連綿と人の手から手へと受け継がれています。

近年、この地で、環境にやさしい持続可能な有機農法が、人と人との協力で育まれ、世界へと広がっています。

先人達は、力を合わせ懸命に働き、新しい技術を生み出し発展させ、後世に繋げています。そこには、互いに尊重しあい、家族、郷土を深く愛し、全てに感謝し、豊かな社会をつくるために、たくましく生きる姿があります。

これからの未来は、地球温暖化、食料、格差・貧困など多くの課題がありますが、科学技術の発展、文化の創造、グローバル社会の拡大は、想像を超えて進みます。

中学生時代は貴重です。先人達に学び、人間関係を大切に自他を尊重し、有意義な学校生活を築き、よりよい学校を創っていきましょう。そして、将来に向かって、自主自立し、自分を高める時でもあります。志を立て、心を育て、体を鍛え、知を拓いていくことを望みます。

【学校の現況】における数値について

基準日 - 令和8年5月1日

面積 - 令和8年度公立学校施設の実態調査(文部科学省)における公立学校施設台帳登録の数値

児童生徒・学級数 - 令和8年度学校基本調査(文部科学省)における学校調査票搭載の数値

教員数等 - 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第41条第2項に規定する町内小中学校の令和8年度における教職員の定数

2 教育相談室・広域適応指導教室

〈教育相談室〉

幼児・児童・生徒に関する各種教育上の問題についての相談に応じています。

（１）主な業務

- ① 幼児及び児童・生徒の教育上の問題について、本人・保護者・教職員等との相談
- ② 不登校児童・生徒に対する学校生活への適応と自立に関する指導（適応指導教室との連携）
- ③ 町内各小・中学校の教育相談活動への支援と協力
- ④ 教育相談に関する調査・研究

（２）主な相談内容

- ・心身の発達（知性・社会性・身体面等）について
- ・学習や行動面での様々な困難さのある子供について（落ち着きがない、学習に集中しづらい、友達関係がうまくいかない等）
- ・不登校や休みがちなお子様について
- ・いじめに関すること
- ・就学や進路に関すること
- ・非行、問題行動に関すること
- ・その他、子供の教育上の問題や悩み等

（３）相談の場所等

小川町高谷2507-18

☎ 0493-72-6859

電話相談

☎ 0120-88-4153（ヨイカン）

・相談室開設時間等

祝祭日・年末年始を除く月曜日～金曜日

午前9:00～午後4:30

相談者

- ・教育相談専門員
- ・常任相談員
- ・スクールソーシャルワーカー（週2日）

〈小川町広域適応指導教室〉

小川町、滑川町、嵐山町、ときがわ町・東秩父村の町村立小・中学校の不登校の児童・生徒に対し学校と連携しながら学校生活への適応と自立のための支援を行っています。

（１）支援内容

- ・学校生活（友達関係、学習や進路等）への不安や悩みの解消
- ・個々の状況に応じた学習の支援
- ・学校との連携による学校復帰への支援

（２）場所等

小川町高谷2507-18（教育相談室内）

☎ 0493-72-6859

（３）活動時間

- ・祝祭日・年末年始を除く月曜日～金曜日
午前9:00～午後2:30

（４）指導者

広域適応指導教室指導員及び指導補助員

〈さわやか相談室〉

生徒が学校生活における悩みや不安を気軽に相談できる場として、町内全中学校に「さわやか相談員」を配置し、様々な相談にきめ細かく対応しています。

またスクールカウンセラーを各中学校に配置し、相談活動の充実を図っています。令和元年度から小学校への配置を開始しました。

小川町立東中学校内

さわやか相談室

☎0493-72-7011

（直通電話）

小川町立小川中学校内

☎0493-72-8155

令和7年度の教育相談室相談数等

1 教育相談室への来所相談

(1) 来所相談者の内訳（延べ数）

相談者／年度	令和5	令和6	令和7
小学生	156	212	138
中学生	392	167	379
小学生保護者	7	24	11
中学生保護者	39	21	23
教職員	212	234	230
その他	39	429	60
合計	845	1,087	841

(2) 来所相談者の相談内容（延べ数）

内容／年度	令和5	令和6	令和7
いじめ	0	0	0
不登校	548	616	615
友人関係	5	4	7
性格・行動	0	2	0
学業等	85	50	33
その他	207	415	186
合計	845	1,087	841

2 電話相談

(1) 電話相談者の内訳（延べ数）

相談者／年度	令和5	令和6	令和7
小学生	5	0	2
中学生	5	1	7
小学生保護者	28	53	48
中学生保護者	127	60	196
教職員	386	292	278
その他	0	339	0
合計	551	745	531

(2) 電話相談者の相談内容（延べ数）

内容／年度	令和5	令和6	令和7
いじめ	0	0	0
不登校	509	348	531
友人関係	0	0	0
性格・行動	0	0	0
学業等	42	53	0
その他	0	344	0
合計	551	745	531

3 令和7年度のその他の相談状況

(1) 家庭訪問件数

実訪問家庭数	0 件
(延べ訪問回数)	0 回

(2) 相談による解決率

相談内容	小学生			中学生		
	実相談件数	実解決件数	解決率(%)	実相談件数	実解決件数	解決率(%)
いじめ	0	0	－	0	0	－
不登校	6	3	50.0	16	11	68.8
家庭環境	0	0	－	0	0	－
その他	0	0	－	0	0	－
合計	6	3	50.0	16	11	68.8

4 広域適応指導教室通室状況（実通室者数）

学校種／年度	令和5	令和6	令和7
小学生	2 名	8 名	6 名
中学生	12 名	14 名	16 名

3 学校給食センター

【施設の概要】

所在地	小川町大字小川377番地
TEL	0493(72)0673
FAX	0493(72)2044
設置年月	昭和55年4月(平成4年8月増築)
建物延面積	841.4㎡
敷地面積	1,795㎡
建物構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造一部2階建



【給食の状況】

- ・調理食数 1,380食(令和8年5月現在)
- ・給食費 小学校 月額5,500円
中学校 月額6,200円
- ・年間給食回数 183回

【給食の沿革】

- 昭和30年 2月 町村合併により、旧町村時代に開設されていた学校の給食室を引き継いで、給食を実施。
- 41年 4月 小川377番地の小川中学校敷地一角に学校給食調理場を新築し、一部学校が共同調理方式に移行。(単独校を含め児童・生徒に完全給食が実施された。)
- 55年 4月 学校給食センターを新築し、町内全小中学校が共同調理方式に移行。
- 平成 4年 8月 5000食対応による増築。

【学校給食の基本方針】

- (1) 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい食習慣を養う。
- (2) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。
- (3) 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。
- (4) 食料の生産・配分及び消費について、正しい理解を導く。

【給食センターの運営】

給食センターの運営については、小・中学校長、PTA又は保護者の代表、知識経験者(学校医、学校薬剤師等)で組織されている運営委員会で、年間の方針や収支状況などが審議されます。

・献立の決定

栄養教諭が献立案を作成し、各学校の給食主任等で組織される月例の給食主任会議で検討し、教育長の決裁を得て決定されます。

・主食内容等

月曜日から金曜日まで5日間のうち、主食は概ね米飯3回、パン1回、めん類1回とします。なお、米は可能な限り小川町産を使用します。

・牛乳内容

牛乳は通年200mlを基本とし、中学校のみ年間数回(7月～9月)250mlを提供します。また、全校を挙げて牛乳パックリサイクルに取り組んでいます。

・特色のある給食の提供

おがわん野菜や地元有機野菜を積極的に使用し、地産地消を推進します。

・地域循環への取り組み

残菜を液体肥料にし、地域の有機農家が活用しています。

・「食育」の推進

栄養教諭等との連携により、各小中学校での授業や行事を通して、子供たちが食について計画的に学ぶことができるよう、積極的に支援しています。



調理作業

4 町立公民館

〈基本方針〉

- 1 生涯学習の拠点として、町民が「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりを目指します。
- 2 町民相互の交流を図る場として機能するよう努めます。
- 3 地域の特性を生かした魅力ある学習活動を展開します。



講座「槻川流域の生きものを学ぶ」

〈事業の概要〉

少子高齢化や社会変化に対応した事業の見直し等を図り、持続可能な事業を実施します。特に地域事業については、地域の方々のご意見を踏まえながら、より多くの地区民が参加できるような事業を検討します。

1 講座・教室

青少年・女性・高齢者・成人等、多様な立場の住民に向けての教室を開催し、仲間づくり・地域づくりの推進を目指します。

2 体育・レクリエーション

体育祭や各種スポーツ大会を開催し、健康増進と、地区民相互の親睦を図ることで、明るい地域社会づくりに貢献します。

3 公民館まつり（文化祭）

公民館利用団体や地域住民の発表の場を設けるため、各館にて公民館まつり等を開催し、地域文化の向上とサークル活動の活性化を図ります。

4 七つの祝

小学校入学の喜びと期待を持たせ、みんなで健やかな成長を願い祝い励まします。パトリアおがわにて、4館合同で開催します。

5 公民館報の発行

公民館からのお知らせや地域の情報、地域住民の声等を掲載し、公民館だよりを年2回発行します。



竹沢公民館まつり



小川地区民ウォーキング



小川町七つの祝

小川町立中央公民館

【施設の概要】

所在地 小川町大字大塚55番地

リックおがわ内

TEL 0493(72)0342

FAX 0493(72)0384

館長 岡野 啓子

建物構造 鉄筋コンクリート・一部鉄骨造2階建

建築年月 昭和57年4月(平成31年改修)

建物延面積 3,004.64㎡

敷地面積 5,610.91㎡

駐車場 収容台数96台

休館日 第3月曜日・年末年始

開館時間 午前9時より午後9時30分

建物内訳 事務室・館長室・印刷室

講座室1・2・3・4・5・会議室1・2・3・4・5

管内人口 13,363人

管内世帯数 6,517世帯



分館 大塚コミュニティセンター

所在地 小川町大字大塚897番地1

TEL 0493(71)1061

FAX 0493(71)1061

建物構造 鉄骨造 2階建

建築年月 平成10年4月

建物延面積 374㎡

敷地面積 561㎡

駐車場 収容台数18台

休館日 火曜日・祝日・年末年始

開館時間 午前9時より午後9時30分

建物内訳 研修室A・研修室B・研修室C・研修室D

【令和7年度 主な実施事業】

《教室・講座》

(前期講座)

タイルクラフト教室 (2回)

たのしいクラフトバンド教室 (1回)

童謡・唱歌教室 (1回)

やさしい尺八教室 (7回)

親子わくわくカヌー教室 (1回)

(後期講座)

1から学ぶ小川の歴史
ー昭和100年のあゆみー (3回)

星空観察会 (1回)

細川紙&小川和紙であなただけの
和綴本をつくろう (1回)

おもてなし英会話 (4回)

はじめてのつまみ細工教室 (4回)

まちのMVをつくろう! (1回)



細川紙&小川和紙であなただけの
和綴本をつくろう



小川地区スポーツフェスタ



中央公民館まつり

《教室・講座》(その他)

中央公民館クラブ (1回)

小川地区高齢者講座 (1回)

《体育・レクリエーション》

小川地区スポーツフェスタ
(10月)

小川地区民ウオーキング (3月)

《文化事業等》

第77回小川町七夕まつり作品展
(第66回百人展)(共催)(7月)

小川町七つの祝 (11月)

中央公民館まつり (2月)

中央公民館だより発行 (5・1月)

小川町立大河公民館

【施設の概要】

所 在 地 小川町大字腰越43番地
 TEL 0493 (72) 0031
 FAX 0493 (72) 0031
 館 長 山口 浩司
 建 物 構 造 鉄骨造2階建
 建 築 年 月 昭和55年3月
 建物延面積 1,078㎡
 敷 地 面 積 1,278.38㎡
 駐 車 場 収容台数49台
 建 物 内 訳 事務室・館長室・和室
 第1会議室・第2会議室
 図書コーナー
 料理実習室・体育室・音楽室
 第3会議室・娯楽談話室



施設の特徴 身障者用トイレ・ピアノ設置
 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始
 開 館 時 間 午前9時より午後9時30分
 管 内 人 口 4,755人
 管内世帯数 2,356世帯

【令和7年度 主な実施事業】

《教室・講座》

(前期講座)

自然観察会

～大河地区の自然を訪ねて～

(1回)

槻川流域の生きものを学ぶ

(3回)

木版画教室

(6回)

竹で編む花籠作り教室

(1回)

たのしいパッチワーク

(7回)

(後期講座)

小川町の山城跡めぐり

(6回)

はじめてのバードウォッチング

(4回)

天然素材で編もう！

おかめ笹籠づくり教室 (1回)

羊毛フェルト教室

～手のひらサイズの柴犬をつくろう～

(3回)

そば打ち体験教室

(1回)



小川町の山城跡めぐり



大河公民館クラブ

歴史講座 「大河地区の歴史
自然・石造物を探る」



大河地区ソフトバレーボール大会

《教室・講座》(その他)

大河公民館クラブ (5回)

高齢者講座 (2回)

《体育・レクリエーション》

大河地区春季ソフトボール大会
(4月)

大河地区秋季ソフトボール大会
(8月)

大河地区民体育祭 (10月)

大河地区ソフトバレーボール大会
(11月)

大河地区駅伝大会 (2月・中止)

大河地区ふらば～る

バレーボール大会兼モルック体験会
(2月・中止)

《文化事業等》

ふるさとまつり (11月)

七つの祝 (11月)

大河公民館だより発行 (5・1月)

小川町立竹沢公民館

【施設の概要】

所 在 地 小川町大字勝呂799番地
 TEL 0493 (72) 1174
 FAX 0493 (72) 1174
 館 長 小野寺 重雄
 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 建 築 年 月 平成4年2月
 建物延面積 1,000㎡
 敷 地 面 積 1,672.62㎡
 駐 車 場 収容台数70台
 建 物 内 訳 事務室・娯楽談話室・図書室
 会議室・料理実習室・和室
 大会議室・集会室・講習室



施設の特徴 身障者用トイレ・エレベーター
 水屋・電気陶芸炉
 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始
 開 館 時 間 午前9時より午後9時30分
 管 内 人 口 2,470人
 管内世帯数 1,267世帯

【令和7年度 主な実施事業】

《教室・講座》

(前期講座)

歴史講座「小川町を知る」(2回)
 ペン習字教室 (5回)
 スマホの便利な使い方 (2回)
 初めてのスマホ決済講座 (1回)
 笑いヨガプラス教室 (5回)
 断捨離®について学ぶ (2回)
 家族で学ぶ
 「お金」のキホン講座 (1回)

(後期講座)

家庭で使える介護教室 (3回)
 初心者向け「資産形成」講座 (2回)
 たのしいPPバンド教室 (2回)



歴史講座「小川町を知る」



高齢者教室 防犯落語



竹沢地区民体育祭



竹沢公民館まつり

《教室・講座》(その他)

高齢者教室 (5回)

《体育・レクリエーション》

竹沢地区ソフトボール大会 (4月)
 ストレッチ教室 (6月)
 竹沢地区バレーボール大会 (6月)
 竹沢地区女子バレーボール大会 (6月)
 竹沢地区民体育祭 (10月)
 竹沢地区グラウンド・ゴルフ大会 (9月)

《文化事業等》

七つの祝 (11月)
 竹沢公民館まつり (11月)
 竹沢公民館だより発行 (6・1月)

小川町立八和田公民館

【施設の概要】

所在地 小川町大字上横田1776番地
 TEL 0493(73)0548
 FAX 0493(73)0548
 館長 根岸 秋吉
 建物構造 鉄骨造2階建
 建築年月 昭和58年4月
 (平成9年10月増改築)
 建物延面積 1,134.37㎡
 敷地面積 2,589㎡
 駐車場 収容台数48台
 建物内訳 事務室・館長室・会議室
 和室・料理実習室・創作室
 視聴覚ホールA・視聴覚ホールB
 ミーティングルーム・大会議室



施設の特徴 身障者用トイレ・エレベーター
 グランドピアノ・陶芸がま
 120インチビデオプロジェクター
 休館日 月曜日・祝日・年末年始
 開館時間 午前9時より午後9時30分
 管内人口 6,311人
 管内世帯数 2,980世帯

【令和7年度 主な実施事業】

《教室・講座》

(前期講座)
 やわた里山体験 ホタル観察会 (1回)
 里山の植物 (2回)
 子ども陶芸教室 (2回)
 はじめての茶道教室(初心者編) (10回)
 はじめての和紙絵教室 (3回)
 (後期講座)
 足つぼ健康教室 (3回)
 しめ縄づくり教室 (1回)
 味噌づくり教室 (3回)
 バラ栽培教室 (5回)

《教室・講座》(その他)

女性講座 (6回)
 高齢者講座 (1回)



子ども陶芸教室



八和田地区グラウンド・ゴルフ大会



八和田公民館文化祭

《体育・レクリエーション》

三世代交流
 グラウンド・ゴルフ大会 (5月・中止)
 親子軽スポーツ体験会 (5月)
 老人クラブ対抗
 ゲートボール大会 (9月・中止)
 八和田地区民体育祭 (10月)
 八和田地区ふれあい
 ウオーキング大会 (11月)
 八和田地区
 グラウンド・ゴルフ大会 (3月)

《文化事業等》

八和田公民館文化祭 (11月)
 七つの祝 (11月)
 八和田公民館だより発行 (5・1月)

令和7年度公民館等事業実施状況及び利用状況

事業実施状況

区 分		体育事業					文化事業等					小計
		中央	大河	竹沢	八和田	計①	中央	大河	竹沢	八和田	計②	①+②
主	件 数	2	1	1	4	8	2	2	2	2	8	16
催	参加者数	1,678	967	699	1,371	4,715	202	439	231	365	1,237	5,952
共	件 数	0	2	5	0	7	1	0	0	0	1	8
催	参加者数	0	197	256	0	453	936	0	0	0	936	1,389

区 分	学級・講座事業（公民館講座）				計③	
	中央	大河	竹沢	八和田		
件 数	11	10	11	9	41	
延参加者数	406	414	494	321	1,635	
区 分	学級・講座事業（公民館講座以外）				計④	合計①+②+③+④
	中央	大河	竹沢	八和田		
件 数	2	2	1	2	7	72
延参加者数	45	250	277	121	693	9,669

利用状況（貸館）

区 分		団体利用						個人利用	合計
		青少年団体	女性団体	成人団体	高齢者団体	その他の団体	計		
利用 団体 数	中 央	4	5	86	3	64	162		
	大 河	4	0	43	3	31	81		
	竹 沢	1	0	37	1	16	55		
	八和田	6	5	67	3	18	99		
	計	15	10	233	10	129	397		
利用 回数	中 央	5	25	1,764	38	733	2,565		
	大 河	6	0	811	8	277	1,102		
	竹 沢	4	0	865	1	129	999		
	八和田	122	47	1,187	19	527	1,902		
	計	137	72	4,627	66	1,666	6,568		
利用 者 数	中 央	54	278	12,192	378	10,831	23,733	27	23,760
	大 河	109	0	6,697	111	4,106	11,023	64	11,087
	竹 沢	142	0	7,229	4	2,096	9,471	144	9,615
	八和田	895	419	8,367	251	3,480	13,412	350	13,762
	計	1,200	697	34,485	744	20,513	57,639	585	58,224

※公民館事業（主催・共催）の参加者数を除く ※中央は大塚コミセンも含む

直近5年利用者数（公民館・年度別）

	中 央	大 河	竹 沢	八和田	計		
令和3年度	21,093	9,243	7,432	11,098	48,866		
令和4年度	22,625	9,205	9,679	12,380	53,889		
令和5年度	24,862	8,495	9,996	14,171	57,524		
令和6年度	27,508	11,333	10,200	16,312	65,353		
令和7年度	24,245	11,904	10,939	16,804	63,892	5年間合計	289,524

※公民館業（主催・共催）の参加者数を含む

※中央は大塚コミセンも含む

4 町立図書館

【施設の概要】

建築年月 平成12年10月
 延面積 3,071.57㎡
 敷地面積 3,725.47㎡
 建築構造 鉄筋コンクリートラーメン構造
 階数 地下1階、地上2階
 所在地 小川町大字大塚99番地1
 TEL 0493(72)5965
 FAX 0493(72)3185
 館長 新田 文子

【沿革概要】

- 昭和30年 2月 旧町村の小川図書館・大河図書館・戸田図書館を引き継ぐ
- 40年 7月 大河図書館を小川図書館に合併し、小川町立図書館として中央公民館3階に併設移転
- 45年 6月 戸田図書館を小川町立図書館に移設
- 52年 4月 県立川越図書館車「はつかり号」駐車場設置
- 54年 7月 旧浦和地方法務局小川出張所を改造移転し独立館となる
- 63年10月 移動図書館車「せせらぎ号」運行開始
- 平成 元年 9月 学級文庫の貸出開始
- 10月 CD・カセットの貸出開始
- 9年 3月 小川町立図書館基本設計着手
- 13年 5月 小川町立図書館現在地に新築オープン（5月10日）
- 同 ファーストブック事業開始
- 14年 2月 2001彩の国さいたま景観賞受賞
- 14年 5月 第1回彩の国人にやさしい町づくり奨励賞受賞
- 22年 3月 新移動図書館車「せせらぎ号」運行開始
- 25年 5月 Web予約の開始
- 25年10月 埼玉・教育ふれあい賞受賞
- 26年12月 宅配サービス開始
- 29年 4月 配本サービス開始
- 同 雑誌スポンサー制度開始
- 同 バナー広告制度開始
- 令和 4年 9月 比企広域電子図書館導入
- 5年 3月 移動図書館車「せせらぎ号」運行終了

【基本方針】

- 1 社会教育法の精神を受け継ぎ、図書館法及び小川町立図書館条例第1条の定めるところを实践し、町民の教育と文化の発展に寄与することに努める。
- 2 図書館は生涯学習の場であり、知る自由をもつ全ての町民に資料と情報と施設を提供することをもっとも重要な任務とし、そのための条件整備を常に図り、その期待に応えるよう努める。
- 3 小川町の図書館サービスが成立するための諸条件を常に考究し、町民が誰でも幅広く利用できる生涯学習の拠点となるよう、町民とともに小川町らしい図書館づくりをめざす。



重点目標

- ・図書館資料の構築と充実
- ・各種サービスの充実
- ・電子図書館サービスの普及
- ・関係機関との協力・連携強化
- ・施設・設備の老朽化対策

利用案内

利 用 時 間	火・水・木・土・日曜日・祝日 午前10時～午後6時 金曜日 午前10時～午後7時 まちの情報コーナー、くつろぎコーナーは、開館時間の1時間前からご利用できます。（土・日・祝日は30分前から。）
休 館 日	毎週月曜日（国民の祝日は除く） 館内整理日（毎月第4木曜日） 特別整理期間（年10日以内）年末年始 国民の祝日の翌日（土・日曜日を除く）
貸 出	図書・雑誌・紙芝居 15日間10冊まで CD・カセットテープ 15日間3点まで ビデオ・DVD 15日間1点まで 絵画 30日間1点まで

【電子図書館サービス】

○サービス開始日

令和4年9月1日

○運営主体

比企広域（小川町、東松山市、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町及びときがわ町）

○サービス内容

インターネットを通じてパソコン、スマートフォン等様々な機器で電子書籍の貸出、予約を行うことができます。

○貸出冊数・期間

冊数 1人3冊まで 期間 貸出日から15日間

○予約冊数

貸出中の電子書籍の予約可能（1人3冊まで）

【学級文庫】

町内全ての小学校を学期ごとに巡回し、全クラスを対象に図書を貸し出す。

【令和7年度主な実施事業】

《各種講座開催事業》

- ・おはなし講座
- ・文学講座

《その他の事業》

- ・おはなし会
- ・時局・季節講座・作家等の企画展
- ・図書館まつり
- ・こどもフェスティバル（夏・冬休み開催）
- ・親子で楽しむおはなし会（わらべうた等）
- ・科学あそび
- ・大人のためのおはなし会
- ・春休みおはなし会
（幼児・就学前児童・小学生）
- ・図書・雑誌リサイクル
- ・子ども読書の日記念おはなし会
- ・図書館バックヤードツアー



冬休みこどもフェスティバル



科学あそび「空気砲」



春休みおはなし会



文学講座

図書館資料

蔵書冊数(令和8年3月31日現在 図書のみ)

蔵書冊数	うち開架図書	うち児童
288,288	169,266	64,195

資料の利用状況(貸出点数令和6年度)

貸出点数		149,923
配本サービス貸出	町内6ステーション	3,708(上記に含む)

図書館利用状況

	入館者数	利用者数	貸出冊数	蔵書冊数	開館日数
令和3年度	73,452	48,112	195,508	281,385	291
令和4年度	82,895	46,278	181,723	283,587	289
令和5年度	89,788	45,629	169,473	284,935	292
令和6年度	91,248	44,352	159,940	285,672	288
令和7年度	90,956	44,524	149,923	288,288	281

6 社会体育施設一覧

No.	施設名	所在地	面積	施設内容	設置年度
1	町営八幡台グラウンド	大字大塚 440	10,200 m ²	多目的グラウンド(野球1面)	S43年度
2	町立武道館	大字高谷 2510	613.38 m ²	柔剣道場 弓道場(射場・的場3人立ち) 管理室、更衣室、トイレ	S55年度
3	小川小運動場照明	大字小川 377	(照明面積)12.614 m ²	照明灯6基(8灯/基)	S57年度
4	大河小運動場照明	大字腰越 209	(照明面積)7.970 m ²	照明灯6基(8灯/基)	S58年度
5	小川町総合運動場	大字高谷 141-1 TEL 74-2645	(多目的グラウンド)13,020 m ²	ソフトボール2面、サッカー1面、 200mトラック8コース、芝生スタンド	S62年度
			(ゲートボール場)1,450 m ²	ゲートボール2面、シェルター	S62年度
			(管理棟)210 m ²	事務室、更衣室、トイレ、ロビー	S62年度
			テニスコート 2,462.3 m ²	クレーコート4面、シェルター棟、スタンド	S63年度
			テニスコート 4,200.7 m ²	クレーコート6面、スタンド	H元年度

令和7年度社会体育施設利用状況

施設名	利用回数	利用人数
町営八幡台グラウンド	639	14,058
町立武道館	1,290	6,450
小川小学校 運動場照明	157	5,495
大河小学校 運動場照明	153	3,213
総合運動場 テニスコート	727	5,816
総合運動場 多目的グラウンド	287	8,036
総合運動場 ゲートボール場	1	140

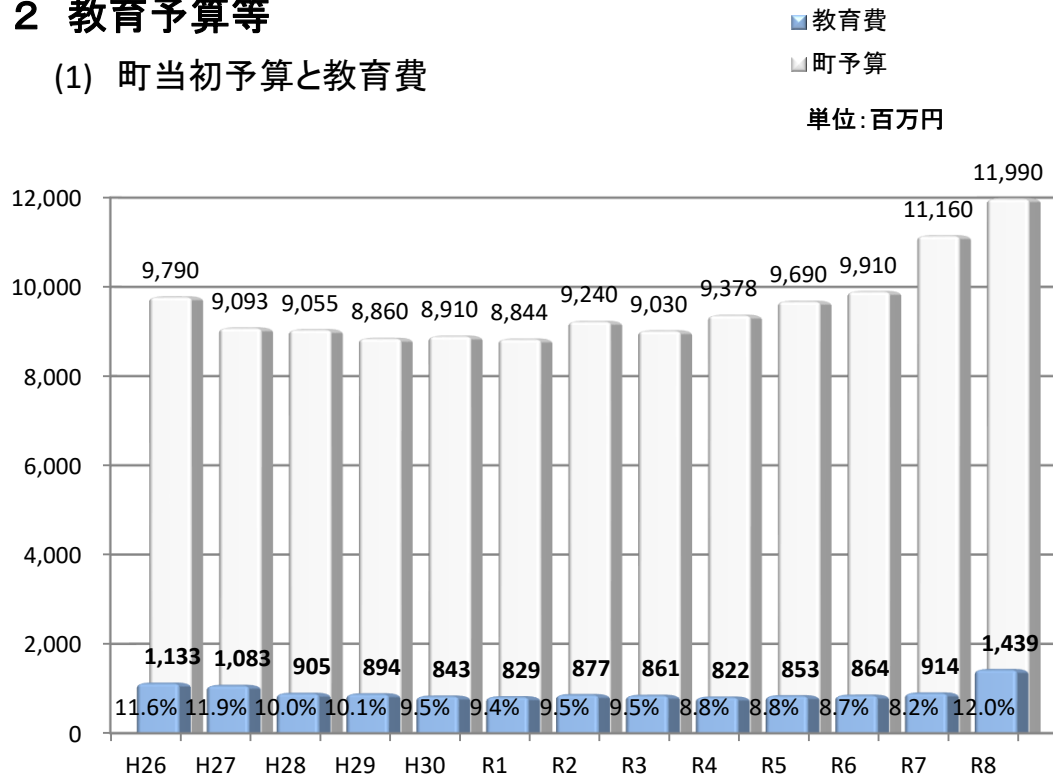
V 教育関係資料

1 小川町教育の沿革

年 月		事 項
昭和	30	2 小川町・八和田村・竹沢村・大河村合併「小川町」発足
	31	1 寄居町大字西古里、鷹巣の一部小川町へ編入 ※教育施設 小学校8校(うち分校4) 中学校4校 公民館4館 図書館3館
	33	7 竹沢小学校新築
	36	4 大河中及び竹沢中統合、西中学校設置
		11 小川町史刊行
	39	3 下里分校新設
		4 西中学校新築、移転
	40	7 中央公民館新築
	41	4 学校給食調理場設置(小川377)
	42	9 埼玉国体炬火が堂平で行われる
	43	4 小川中及び八和田中統合、東中学校設置
	44	3 町営グラウンド完成
	45	3 東中学校新築、移転
		6 戸田図書館を小川町立図書館に移設
	46	3 東中及び西中体育館新築
		11 県立少年自然の家開設
	49	2 小川町学制百年記念式典挙行
	52	4 組織改編により、総務課・学校給食共同調理場の2課制となる
	53	9 小川小学校新築移転(大塚55から小川377)
	54	3 大河小学校青山分校廃校
		7 図書館移転(大塚33-2から大塚1163)
	55	3 学校給食センター新築 大河公民館・小川町勤労青少年ホーム新築
		7 八和田小学校新築
	56	3 武道館新築(高谷2510)
	57	6 大河小学校新築
	58	3 大河小学校古寺分校廃校
		4 東小川小学校新築、開校
		4 八和田地区多目的研修所(公民館)新築移転(上横田555-1から上横田1776)
	60	2 小川町合併30周年記念式典挙行、町の木、町の鳥、町の花制定
		10 「健康・スポーツの町」宣言
平成	63	3 総合運動場(多目的グラウンド・管理棟)完成
	元	3 東小川小学校増築
		5 総合運動場(第1テニスコート)完成
		11 町村制施行100周年記念式典挙行
		3 4 みどりが丘小学校新築、開校
	4	2 竹沢小学校新築
		3 竹沢公民館・勤労福祉センター新築移転(木部85-1から勝呂799)
		4 町史編さん事業開始
	5	4 組織改正により教育総務課・社会教育課・学校給食センターの3課となる 上野台中学校新築、開校
		12 第1回小川和紙マラソン大会開催
	6	2 西中学校特別教室棟新築
		3 みどりが丘小学校増築
	7	12 小中学校全校にコンピューター教室改造・機器設置完了
	9	4 樺台中学校新設、開校
	13	5 図書館新築、移転(大塚1163から大塚99-1)
	14	5 教育相談室、図書館跡地に移転(大塚55から大塚1163)
	15	4 小川小学校下里分校・大河小学校腰越分校 休校 小川小学校に通級指導教室(難聴・言語)設置
	16	4 広域適応指導教室設置
	17	1 小川町合併50周年記念「小川町のあゆみ」刊行、町史編さん事業終了
	18	4 組織改正により学校教育課・生涯学習課の2課制となる
	19	3 大河小学校腰越分校廃校
	20	4 みどりが丘小学校に通級指導教室(発達・情緒)設置
	22	3 武道館改修工事
	23	3 小川小学校下里分校廃校
		4 上野台中学校を東中学校へ統廃合
	24	4 大河小学校に通級指導教室(発達・情緒)設置 樺台中学校に通級指導教室(発達・情緒)設置
	26	8 西中学校改築
	26	9 八和田小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校・樺台中学校に空調設備設置
	26	10 東小川小学校に空調設備設置
	26	12 教育相談室移転(大塚1163から高谷2507-18)
	28	1 小川小学校・大河小学校・東中学校・西中学校に空調設備設置
	29	八和田小学校・小川小学校・竹沢小学校・大河小学校・東小川小学校・みどりが丘小学校
	30	・東中学校・樺台中学校トイレ洋式化工事実施(平成29年8月～平成30年2月)
	31	4 小中学校学校運営協議会設置(全校設置)
令和		4 中央公民館、リリックおおわ内に移転(大塚33-2から大塚55)
		4 地域学「おがわ学」の取組みの始まり(県委嘱 令和元年度～3年度)
	元	6 小中学校特別教室エアコン設置(各学校1教室)
	2	3 (株)西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定を締結
	3	3 小中学校GIGAスクール校内LAN環境整備、児童生徒1人1台タブレット端末導入
	3	8 「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」小川町採火式、聖火ピジット等の実施(リリック、社会福祉施設等)
	4	4 東小川小学校の小川小学校への統合
		4 文化財整理室、旧竹沢保育園に移転(腰越1722から靱負1186 旧腰越分校は文化財整理室分室に変更)
		9 比企広域電子図書館「比企eライブラリ」導入
	6	1 小川町立4小学校(八和田小学校、小川小学校、竹沢小学校、大河小学校)創立150周年記念式典
	7	4 西中学校と樺台中学校が統合、小川中学校が開校

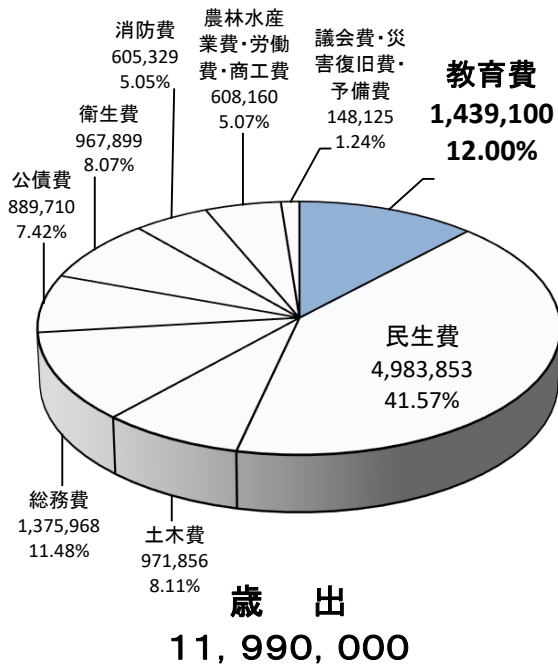
2 教育予算等

(1) 町当初予算と教育費

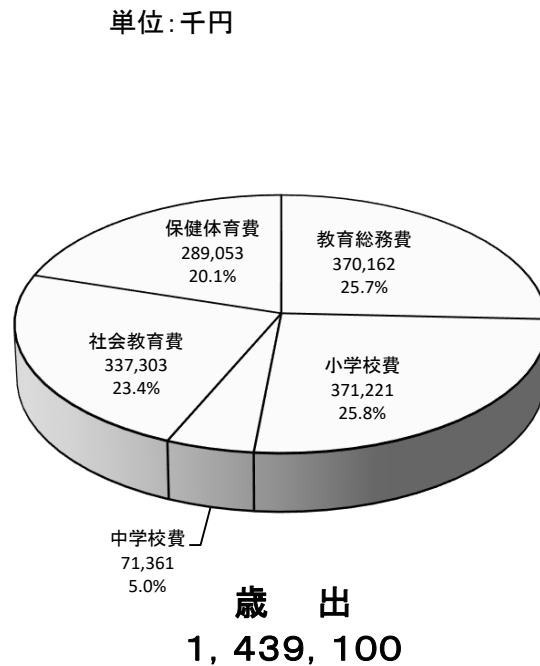


(2) 令和8年度当初予算と教育費

【一般会計】



【教育費】



(3) 令和8年度当初予算における教育費(歳出前年度比)

単位:千円

費 目		8年度当初予算	7年度当初予算	対前年度比較	対前年度比較率(%)
一 般 会 計 総 額		11,990,000	11,160,000	830,000	7.4
教 育 費 総 額		1,439,100	914,495	524,605	57.4
項 目					
1. 教育総務費		370,162	186,198	183,964	98.8
	1. 教育委員会費	1,073	1,053	20	1.9
	2. 事務局費	369,089	185,145	183,944	99.4
2. 小学校費		371,221	184,810	186,411	100.9
	1. 学校管理費	365,344	171,663	193,681	112.8
	2. 教育振興費	5,877	13,147	△ 7,270	△ 55.3
3. 中学校費		71,361	66,397	4,964	7.5
	1. 学校管理費	58,949	53,161	5,788	10.9
	2. 教育振興費	12,412	13,236	△ 824	△ 6.2
4. 社会教育費		337,303	310,767	26,536	8.5
	1. 社会教育総務費	105,058	103,428	1,630	1.6
	2. 公民館費	95,294	90,925	4,369	4.8
	3. 図書館費	136,951	116,414	20,537	17.6
5. 保健体育費		289,053	166,323	122,730	73.8
	1. 保健体育総務費	15,295	16,154	△ 859	△ 5.3
	2. 体育施設費	30,265	29,384	881	3.0
	3. 学校給食センター費	243,493	120,785	122,708	101.6

(4) 人口1人当りの教育費の推移

区分	教育費(人口1人当り)					
	教育総務費	小学校費	中学校費	社会教育費	保健体育費	合 計
4年度	円 6,697	円 5,018	円 2,838	円 9,388	円 4,925	円 28,866
5年度	6,701	4,747	2,959	9,674	6,401	30,482
6年度	6,511	5,056	4,180	10,231	5,174	31,152
7年度	6,833	6,782	2,436	11,404	6,103	33,558
8年度	13,780	13,819	2,656	12,556	10,760	53,571

※当初予算額にて積算

毎年4月末日現在人口

(5) 児童1人当りの教育費(小学校費)の推移

区分	各年度5月1日 現在の児童数	小 学 校 費					
		学校管理費	児童1人当り	教育振興費	児童1人当り	合 計	児童1人当り
4年度	人 962	千円 128,711	円 133,795	千円 14,135	円 14,693	千円 142,846	円 148,489
5年度	908	121,186	133,465	11,661	12,843	132,847	146,307
6年度	855	127,144	148,706	13,021	15,229	140,165	163,936
7年度	822	171,663	208,836	13,147	15,994	184,810	224,830
8年度	765	365,344	477,574	5,877	7,682	371,221	485,256

※当初予算額にて積算

(6) 生徒1人当りの教育費(中学校費)の推移

区分	各年度5月1日 現在の生徒数	中 学 校 費					
		学校管理費	生徒1人当り	教育振興費	生徒1人当り	合 計	生徒1人当り
4年度	人 547	千円 66,903	円 122,309	千円 13,887	円 25,388	千円 80,790	円 147,697
5年度	539	69,861	129,612	12,958	24,041	82,819	153,653
6年度	533	101,477	190,388	14,404	27,024	115,881	217,413
7年度	485	53,161	109,610	13,236	27,291	66,397	136,901
8年度	455	58,949	129,558	12,412	27,279	71,361	156,837

※当初予算額にて積算

(1) 人口・児童・生徒数の推移



学 校 名	児 童 ・ 生 徒 数								学 級 数								
	通 常 の 学 級						特別 支援 学級	合計	通 常 の 学 級						特別 支援 学級	合計	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年			1年	2年	3年	4年	5年	6年			
八和田小	14	15	12	14	22	19	8	104	1	1	1	1	1	1	2	8	
小川小	56	41	47	47	58	53	19	321	2	2	2	2	2	2	4	16	
竹沢小	8	6	12	9	11	7	5	58	1	1	1	1	1	1	2	8	
大河小	18	16	25	23	33	24	4	143	1	1	1	1	1	1	2	8	
みどりが丘小	7	21	13	33	25	30	10	139	1	1	1	1	1	1	2	8	
小学校合計	103	99	109	126	149	133	46	765	6	6	6	6	6	6	12	48	
東中	75	68	95				14	252	3	2	3				2	10	
小川中	62	64	66				11	203	2	2	2				2	8	
中学校合計	137	132	161				25	455	5	4	5				4	18	

4 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

氏 名	内耳鼻歯薬 の別	担 当 校	氏 名	内耳鼻歯薬 の別	担 当 校
内田博之	内	竹沢小、小川中	池田光太郎	歯	八和田小
笠原 宏	内	大河小	小熊和彦	歯	東中
木下 淳	内	小川小	高野 実	歯	小川小
木下美知子	内	みどりが丘小	斉藤篤史	歯	大河小
眞田大介	内	八和田小	高橋健児	歯	小川中
瀬川 豊	内	東中	土岐光伸	歯	みどりが丘小
野崎 浩	内	大河小	渡部俊哉	歯	みどりが丘小
柳澤京介	内	小川小	岡田尚輝	歯	竹沢小
柳澤守文	内	東中	伊藤進	薬	小川中
野崎信行	耳	八小、竹小、み小、東中、小川小、大河小、小川中	岡勢美子	薬	みどりが丘小、東中
新井早苗	眼	竹小、大河小、小川中	島田悦男	薬	八和田小、竹沢小、大河小
田中真理子	眼	八小、小川小、み小、東中	松島喜久夫	薬	小川小

5 各委員会等委員一覧（充職による委員の任期は、各委員一覧表上段に示す任期によらない場合がある。）

(1) 小川町教育支援委員会委員 ※印は委員長 任期 令和7年5月1日～令和9年4月30日

氏 名	所 属	備 考	氏 名	所 属	備 考
瀬川 豊	比企医師会	小川町大塚	高橋芳和	竹沢小学校教諭	特別支援学級担任
竹林正浩	小川赤十字病院 精神・神経科医師	〃 小川	伊豆野文子	大河小学校教諭	特別支援教育コーディネーター
矢島 玲	らんざん児童家庭支援センター	臨床心理士	田村綾子	大河小学校教諭	特別支援教育主任
河野康雄	教育相談専門員		葛野かすみ	みどりが丘小学校教諭	特別支援教育コーディネーター
稗田順子	教育相談専門員		小澤亜由美	東中学校教諭	特別支援教育コーディネーター
小林 聡	小川小学校長		中村友美	東中学校教諭	通級指導教室担任
沼野友宏※	東中学校長		松本沙耶香	小川中学校教諭	特別支援教育コーディネーター
原真佐巳	八和田小学校長		宮澤美保	小川中学校教諭	通級指導教室担任
吉田千佳	八和田小学校教諭	特別支援教育コーディネーター	小林淳子	子育て支援課保育士	八和田保育園長
嶋田美穂	八和田小学校教諭	特別支援教育主任	竹原佳美	子育て支援課保健師	保健師
贅田朱梨	小川小学校教諭	特別支援教育主任	古谷悦子	スクールソーシャルワーカー	
中島美佐恵	小川小学校教諭	特別支援教育コーディネーター			

(2) 教育相談員

任期 令和8年4月1日～令和9年3月31日

学校等名	氏名	職名	所 属	学校等名	氏名	職名	所 属
教育相談室	河野康雄	教育相談室 専門員		大河小学校	伊豆野文子	常任相談員 相談員	特別支援教育 コーディネーター
教育相談室	稗田順子	教育相談室 専門員	広域適応指導教室 指導員	みどりが丘 小学校	塚本美家	常任相談員 相談員	第3学年担任 教育相談主任
八和田 小学校	吉田千佳	常任相談員 相談員	通級指導教室担当 特別支援教育 コーディネーター	東中学校	金子容也	常任相談員 相談員	第3学年1組担任 教育相談主任
小川小学校	費田朱梨	常任相談員 相談員	特別支援学級担任 特別支援教育主任	小川中学校	宮澤美保	常任相談員 相談員	第1学年主任 教育相談主任
竹沢小学校	高橋芳和	常任相談員 相談員	特別支援学級担任 教育心理・ 教育相談主任				

(3) 学校給食センター運営委員会委員

※印は委員長

任期 令和8年6月1日～令和10年5月31日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
小林 聡 ※	小川小学校長	柿沼多加代	小川小学校給食主任
宮澤 忍	大河小学校長	嶋田美穂	八和田小学校給食主任
船田真由美	みどりが丘小学校長	木下 淳	学校医
大野光男	小川中学校長	土岐光伸	学校医
戸田直秀	小川小学校 PTA 代表	内田忠男	学校薬剤師
桜井るり	竹沢小学校 PTA 代表	岡勢美子	学校薬剤師
吉田昭典	八和田小学校 PTA 代表	丹戸敏子	東松山保健所職員
尾島満矢	東中学校 PTA 代表		

(4) 人権教育推進協議会委員

※印は委員長

任期 令和8年5月1日～令和10年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
宮澤 忍 ※	小中学校長代表（大河小学校）	根岸秋吉	社会教育施設関係（八和田公民館長）
吉田千佳	人権教育主任（八和田小学校）	新田文子	社会教育施設関係（図書館長）
上野麻衣	人権教育主任（みどりが丘小学校）	正能和夫	知識経験者（民生・児童委員）
飯塚 優	人権教育主任（東中学校）	小栗真紀	知識経験者（社会教育委員）
利根川翔太	人権教育主任（小川中学校）	山下景子	知識経験者（人権擁護委員）
岡野啓子	社会教育施設関係（中央公民館長）	湯本 貴	社会教育関係団体（スポーツ協会）
山口浩司	社会教育施設関係（大河公民館長）	戸田直秀	社会教育関係団体（PTA）
小野寺重雄	社会教育施設関係（竹沢公民館長）	落合浩一	町人権施策担当者（総務課主幹）

(5) 社会教育委員 ・ (6) 生涯学習推進町民協議会委員

※印は委員長

任期 令和7年5月1日～令和9年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
原真佐巳	小学校長代表（八和田小学校長）	山村秀昭	学識経験者
大野光男	中学校長代表（小川中学校長）	内村久子	〃
桜井るり	小学校 PTA 代表（竹沢小学校）	菰塚雄一	〃
尾島満矢	中学校 PTA 代表（東中学校）	小栗真紀	〃
永井良文	社会教育団体代表（小川町スポーツ少年団）	内川文子	〃
加藤正見	社会教育団体代表（大河郷流鏝馬保存会）	安藤洋子	〃
島田隆久 ※	学識経験者		
岩田孝雄	〃		

(7) 公民館運営審議会委員

※印は委員長

任期 令和7年5月1日～令和9年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
大野光男	小川中学校長（小中学校長代表）	田端文夫	学識経験者
川品 健 ※	小川地区区長会長	菅沼好子	〃
村木新平	大河地区区長会長	小林康雄	〃
原川 実	竹沢地区区長会長	関谷ひろ美	〃
笹本孝幸	八和田地区区長会長	森屋 恵	〃
内田兼造	学識経験者	大橋喜久雄	〃
河村妙子	〃	馬場敏子	〃
竹田順子	〃	中島信子	〃
玉川光宏	〃		

(8) 図書館協議会委員

※印は委員長

任期 令和8年5月1日～令和10年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
赤松 武	竹沢小学校長（小学校長代表）	関根堅司	学識経験者
沼野友宏	東中学校長（中学校長代表）	坪木悦子	〃
岡本 功 ※	学識経験者	清水正子	〃
森 正子	〃	丹羽徳子	〃
大塚恵理香	〃	大塚奈子	〃

(9) 文化財保護委員

※印は委員長

任期 令和7年5月1日～令和9年4月30日

新田文子委員任期 令和8年5月1日～令和10年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
杉田 勝 ※	天然記念物・植物	落合義明	日本中世史
新田文子	民俗、近・現代史	末木啓介	日本考古学
青木繁夫	文化財保存科学		

(10) スポーツ推進委員

※印は会長

任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日

氏 名	種 目	氏 名	種 目
島田勇子 ※	卓球	田中正昭	ソフトボール・野球
内田兼造	ソフトテニス・ゴルフ	立木智美	ソフトボール
原川 功	ソフトボール	千野博之	ソフトボール・野球
大木恵美子	ソフトボール・ソフトテニス	島田孝行	野球
樺澤聡子	バレーボール	吉田江美子	ソフトテニス
恩田昭広	ソフトボール・ソフトバレー	荒井雅義	陸上競技
幡谷美津保	バドミントン	柏俣厚一	陸上競技
小栗真紀	硬式テニス	高橋啓人	サッカー
大橋輝雄	バドミントン	井上正昭	野球
福田由美子	バレーボール	河村妙子	ソフトバレー・ふらば～るバレー

(11) スポーツ推進審議会委員

※印は会長

任期 令和7年5月1日～令和9年4月30日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
湯本 貴	スポーツ協会	瀬川 豊 ※	学識経験者
大橋輝雄	スポーツ少年団	根岸照之	〃
島田勇子	スポーツ推進委員	荒井基明	〃
五島アツ子	学識経験者	奥田賢一	行政機関職員

(12) 放課後子供教室運営委員会委員

※印は委員長

任期 令和7年6月1日～令和9年5月31日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
吉田和也	区長会代表	内川文子	社会教育委員代表
内田 弘	老人クラブ代表	馬場敏子	公民館運営審議会委員代表
吉田昭典	PTA 代表（八和田小学校 PTA）	落合俊正	学識経験者
田部井由利子	民生児童委員代表	瀬上仁直 ※	学識経験者
大野直子	放課後学童クラブ代表	小池 学	学校教育課長
船田真由美	みどりが丘小学校長（小学校長会）		

6 スポーツ・文化団体(補助団体)

(1)小川町スポーツ協会役員及び加盟団体一覧

令和8年6月1日現在

①役 員

会 長： 瀬川 豊

副 会 長： 島田 敏夫 松岡 良治

理事長： 湯本 貴

副理事長： 桜井 国次 佐藤 守朗

監 事： 加藤 正見 秋山 尚之

幹 事： 栢盛 武昭 小澤 孝 原川 功

②加盟団体

団体名	会長名	構成人員
小川町野球連盟	島田 康弘	1 4 1 人
小川町庭球協会	瀬川 豊	5 0 人
小川卓球クラブ	生水口俊夫	1 0 人
小川町ソフトボール協会	島田 康弘	2 7 9 人
小川町バレーボール連盟	尾上 邦男	9 0 人
小川町陸上競技協会	瀬川 豊	3 5 人
小川山の会	馬場 吉隆	8 人
小川町スキー連盟	山岸 俊男	2 1 人
小川町バドミントン連盟	大橋 輝雄	2 7 人
小川相撲協会	瀬川 豊	1 8 人
小川柔道会	利根田健次	2 5 人
小川町剣道会	関口 義雄	3 3 人
小川弓道会	島田 弘	3 7 人
小川町サッカー協会	根岸 伸夫	1 8 3 人
小川町空手道連盟	千野幸次郎	4 0 人
小川町硬式テニス協会	吉田 淳一	4 4 人
小川町ゴルフ協会	松岡 良治	4 1 人
小川町グラウンド・ゴルフ協会	飯野 弘司	2 4 6 人
小川町ゲートボール連盟	栗原 菊次	3 1 人
小川町スポーツ推進委員協議会	島田 勇子	2 0 人
小川町吹矢連盟	樺澤 利夫	4 4 人

合計

1, 4 2 3 人

(2)小川町スポーツ少年団役員及び登録団一覧

令和8年6月1日現在

①役 員

本 部 長： 大橋 輝雄
 副本部長： 伊藤 一郎 小澤 孝
 監 事： 関口 義雄 吉田 安雄
 幹 事： 根岸 祐太 中島 建二

②登録団

団 名	代表者名	団員数		指導者数		役員数		スタッフ数	
		男	女	男	女	男	女	男	女
剣道第一スポーツ少年団	関口義雄	5人	2人	8人	0人	0人	0人	0人	0人
小川ネクスススポーツ少年団	湯本忠史	18人	2人	6人	0人	0人	0人	4人	0人
小川ジュニアテニスクラブスポーツ少年団	田中幸夫	5人	18人	6人	3人	0人	0人	0人	0人
小川町陸上競技スポーツ少年団	小澤 孝	16人	16人	2人	2人	2人	0人	11人	2人
ジャムハンジュニアバレーボールスポーツ少年団	伊藤一郎	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
小川トリームジュニアバドミントンスポーツ少年団	大橋輝雄	7人	19人	2人	0人	0人	0人	2人	0人
竹沢バレーボールスポーツ少年団	吉田安雄	5人	7人	2人	2人	1人	0人	0人	0人
FCアルベスタ小川スポーツ少年団	尾川謙一	45人	5人	12人	0人	0人	0人	15人	0人
小川レインボーミニバスケツスポーツ少年団	岸田佳幸	10人	1人	4人	2人	0人	0人	0人	0人
9団体合計		111人	70人	43人	9人	3人	0人	32人	2人
		181人		52人		3人		34人	

(3)文化団体

団 体 名	代 表	構成人員	団 体 名	代 表	構成人員
下里獅子舞保存会	関根千春	—	津島神社祭囃子保存会	落合康之	56人
因縁和無形文化財保存会	大戸良男	34戸	古寺太鼓保存会	大戸良男	6人
おがわ文化会	馬場千恵子	15人	大河郷流鏝馬保存会	加藤正見	—
細川紙技術者協会	内村久子	7人	小川町子ども会連絡協議会	志賀祥子	870人
小川祭ばやし保存会	櫻井克浩	—			

7 小川町内所在の指定文化財・登録有形文化財

(令和8年6月1日現在)

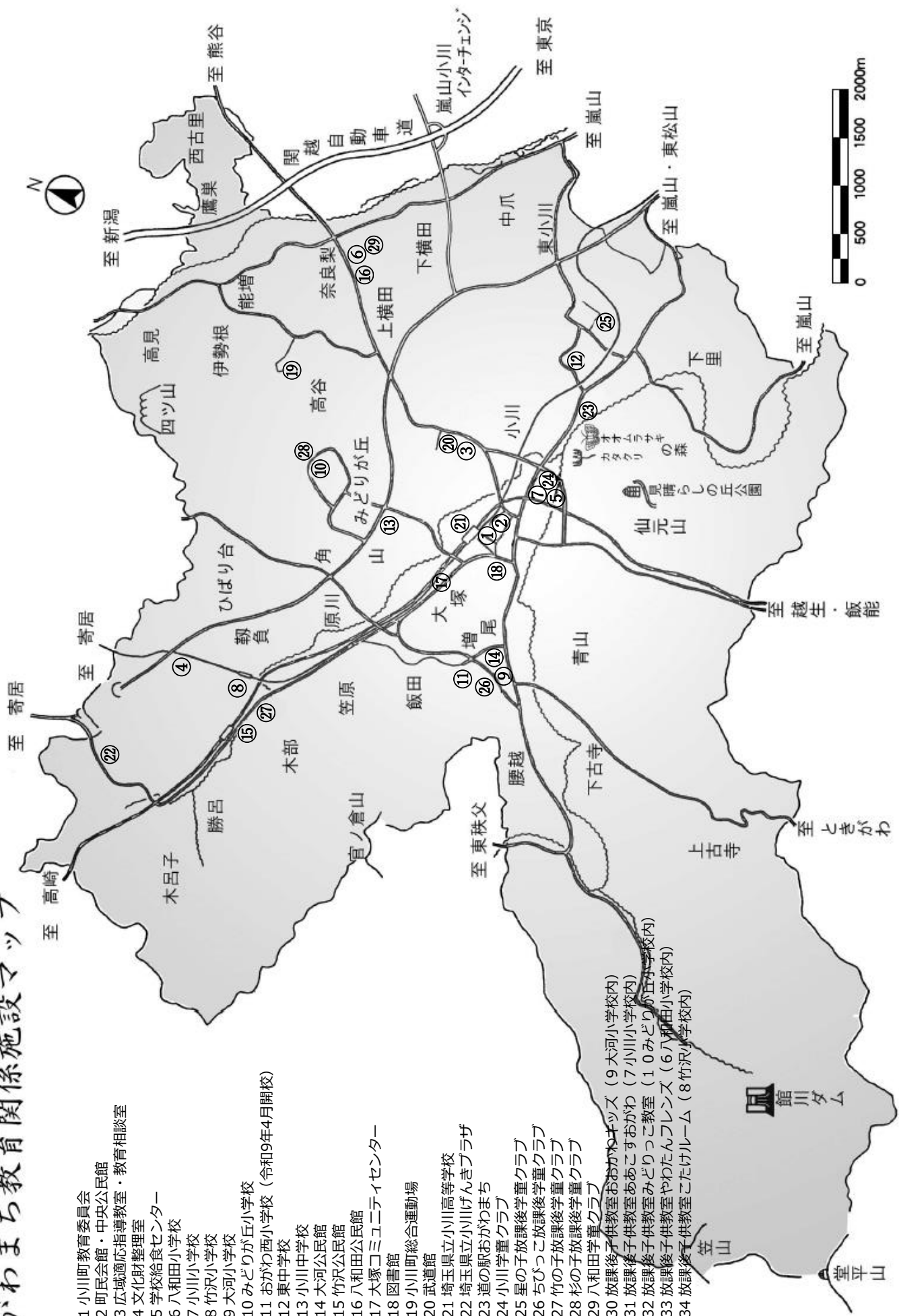
種別	名称	員数	所在地等	指定年月日
国 有形文化財 建造物	吉田家住宅	1 棟	勝呂 424	平成元年 5 月 1 9 日
国 有形文化財 考古資料	石造法華経供養塔	1 基	下里 1857 大聖寺	大正 2 年 8 月 2 0 日
	板碑	1 基		昭和 5 4 年 6 月 6 日
国 記念物 史跡	比企城館跡群 小倉城跡	1 か所	下里 2997・1 他	平成 2 0 年 3 月 2 8 日
国 記念物 史跡	下里・青山板碑製作遺跡	1 か所	下里 2724・1 他	平成 2 6 年 1 0 月 6 日
国 無形文化財 工芸技術	細川紙	7 人	細川紙技術者協会	昭和 5 3 年 4 月 2 6 日
県 有形文化財 建造物	八宮神社社殿及び青麻三光宮本殿	2 棟	小川 991・1	平成 2 4 年 3 月 1 6 日
県 記念物 史跡	穴八幡古墳	1 基	増尾 63・1 他	昭和 3 4 年 3 月 2 0 日
県 記念物 史跡	腰越城跡	1 か所	腰越 2375 他	平成 4 年 3 月 1 1 日
県 記念物 史跡	四ツ山城跡	1 か所	高見 1008 他	平成 1 5 年 3 月 1 8 日
県 記念物 旧跡	諏訪神社奉祀跡	1 か所	奈良梨 781 他	昭和 3 6 年 9 月 1 日
県 記念物 旧跡	仙覚律師遺跡	1 か所	大塚 351	昭和 3 6 年 9 月 1 日
県 記念物 天然記念物	堂平のヒカリゴケ自生地	1 か所	腰越	昭和 6 年 3 月 3 1 日
県 記念物 天然記念物	古寺鍾乳洞	1 か所	上古寺	昭和 1 1 年 3 月 3 1 日
県 記念物 天然記念物	下里の大モミジ	1 本	下里 2582	昭和 1 6 年 3 月 3 1 日
県 記念物 天然記念物	下里のスダジイ林	1 か所	下里 1939	平成 8 年 3 月 1 9 日
町 有形文化財 絵画	武田信俊筆鷹絵図	2 幅	上横田 1215 輪禅寺	昭和 5 3 年 3 月 1 7 日
町 有形文化財 絵画	絹本着色徳川家康画像	1 幅	中爪 1042 普光寺	昭和 5 3 年 3 月 1 7 日
町 有形文化財 彫刻	龍谷薬師如来立像	1 軀	小川 1353	昭和 5 3 年 3 月 1 7 日
町 有形文化財 彫刻	東昌寺薬師如来立像	1 軀	角山 293 東昌寺	昭和 5 3 年 3 月 1 7 日
町 有形文化財 彫刻	安照寺木造阿弥陀如来立像	1 軀	木部 31 安照寺	平成 2 4 年 5 月 2 日
町 有形文化財 工芸品	諏訪神社鰐口	1 口	奈良梨 292・1 八和田神社	昭和 5 3 年 3 月 1 7 日
町 有形文化財 書跡	山岡鉄舟の白鳥神社の幟旗	1 対	勝呂 310・1 白鳥神社	平成 1 4 年 3 月 1 3 日
町 有形文化財 書跡	山岡鉄舟の木呂子の幟旗(紙本)	1 対	木呂子区	平成 1 4 年 3 月 1 3 日
町 有形文化財 古文書	岡本家文書		下古寺	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	笠原家文書		飯田	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	酒井家文書		増尾	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	福島家文書		腰越	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	松本家文書		上古寺	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	山口家文書		勝呂	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日
町 有形文化財 古文書	横川家文書(写)	1 3 点	腰越	平成 4 年 3 月 2 5 日
町 有形文化財 古文書	笠間家文書		小川	平成 2 2 年 7 月 2 6 日
町 有形文化財 古文書	小久保家文書		上古寺	平成 2 2 年 7 月 2 6 日
町 有形文化財 古文書	本多家文書		中爪	平成 2 2 年 7 月 2 6 日
町 有形文化財 古文書	磯田家文書		増尾	令和 2 年 1 2 月 2 5 日
町 有形文化財 歴史資料	青木てる肖像画付任命状	3 点	小川	平成 2 2 年 7 月 2 6 日
町 有形文化財 歴史資料	日愷授与曼荼羅	1 幅	大塚	平成 2 4 年 5 月 2 日
町 有形文化財 考古資料	円城寺板石塔婆	3 基	青山 654 円城寺	昭和 3 8 年 3 月 1 2 日

種別	名称	員数	所在地等	指定年月日
町 有形文化財 考古資料	大梅寺二連板石塔婆	1 基	大塚 470 大梅寺	昭和 53 年 3 月 17 日
町 有形文化財 考古資料	大橋堂阿弥陀三尊種子板石塔婆	1 基	青山 1520	昭和 53 年 3 月 17 日
町 有形文化財 考古資料	西古里地藏菩薩板石塔婆	1 基	西古里 510	平成 8 年 4 月 19 日
町 有形文化財 考古資料	阿弥陀図像板石塔婆	1 基	下里 302-1	平成 24 年 5 月 2 日
町 有形文化財 考古資料	題目板石塔婆	1 基	下里 1568-1	平成 24 年 5 月 2 日
町 有形文化財 考古資料	大梅寺無縫塔	1 基	大塚 470 大梅寺	平成 24 年 5 月 2 日
町 有形文化財 考古資料	螺旋状鉄釧及び共伴遺物	40 点	上横田地内	令和 6 年 3 月 22 日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り本一屋台	1 基	本一	平成 17 年 12 月 21 日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り本二屋台	1 基	本二	平成 17 年 12 月 21 日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り仲町屋台	1 基	仲町	平成 17 年 12 月 21 日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り錦町屋台	1 基	錦町	平成 17 年 12 月 21 日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り相生町屋台	1 基	相生町	平成 17 年 12 月 21 日
町 民俗文化財 無形民俗文化財	下里の獅子舞		下里獅子舞保存会	昭和 44 年 6 月 26 日
町 民俗文化財 無形民俗文化財	上古寺氷川神社のエンエンワ		因縁和無形文化財保存会	平成 13 年 8 月 23 日
町 記念物 歴史資料	飢饉警告之碑	1 基	勝呂 810-2	昭和 38 年 3 月 12 日
町 記念物 史跡	武田氏一族の墓域	1 か所	上横田 1215 輪禅寺	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 史跡	青山(割谷)城跡	1 か所	青山 2292-2 他	平成 4 年 3 月 25 日
町 記念物 史跡	奈良梨陣屋跡	1 か所	奈良梨 292-1 八和田神社	平成 8 年 4 月 19 日
町 記念物 史跡	行人塚塚群	1 か所	上横田 689-1 他	平成 14 年 3 月 13 日
町 記念物 史跡	鎌倉街道上道跡	3 か所	伊勢根・能増・奈良梨	平成 14 年 3 月 13 日
町 記念物 史跡	青山の百庚申付円城寺富士講碑	1 か所	青山 2519	平成 14 年 3 月 13 日
町 記念物 史跡	下横田の百庚申	1 か所	下横田 705-32	平成 14 年 3 月 13 日
町 記念物 史跡	中城跡	1 か所	大塚 351 他	平成 15 年 8 月 21 日
町 記念物 天然記念物	熊野神社の大スギ	1 本	靱負 343 熊野神社	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	白山神社の大カシ	1 本	増尾 32 白山神社	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	八幡神社の大ケヤキ	1 本	大塚 427 八幡神社	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	八和田神社の大スギ	1 本	奈良梨 292-1 八和田神社	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	鈴木家の大クワ	1 本	奈良梨 600	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	関根家のタイサンボク	1 本	下里 1503	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	横川家のトチノキ	1 本	腰越 2358	昭和 53 年 3 月 17 日
町 記念物 天然記念物	福島家のマキ	1 本	腰越 2301	昭和 63 年 2 月 14 日
町 記念物 天然記念物	青山氷川神社の森	1 か所	青山 1312 氷川神社	昭和 63 年 2 月 14 日
町 記念物 天然記念物	根岸山の大グミ	1 本	靱負 730-1	昭和 63 年 2 月 14 日
町 記念物 天然記念物	自性院のカヤ	1 本	腰越 323 自性院	昭和 63 年 2 月 14 日
町 記念物 天然記念物	三光神社の大スギ	1 本	木部 459-1 三光神社	平成 8 年 4 月 19 日
町 記念物 天然記念物	笠山のブナ林	1 か所	腰越 2793	平成 14 年 3 月 13 日
町 記念物 天然記念物	青山天満宮のヒサカキ	1 本	青山 2452	平成 17 年 3 月 28 日
町 記念物 天然記念物	上古寺氷川神社の森	1 か所	上古寺 565 他 氷川神社	令和 2 年 12 月 25 日
町 記念物 天然記念物	靱負愛宕神社の森	1 か所	靱負 1219 愛宕神社	令和 2 年 12 月 25 日
国 登録有形文化財	割烹旅館二葉本店本館	1 棟	大塚 32-5	平成 16 年 7 月 23 日
国 登録有形文化財	割烹旅館二葉本店六六亭	1 棟	大塚 32-5	平成 16 年 7 月 23 日
国 登録有形文化財	田中家長屋	1 棟	小川 177	令和 3 年 2 月 4 日
国 登録有形文化財	旧玉成舎主屋	1 棟	小川 197-4	令和 3 年 2 月 26 日
国 登録有形文化財	旧玉成舎石蔵	1 棟	小川 197-4	令和 3 年 2 月 26 日

8 小川町教育・文化施設等一覧

No	機 関 名	所 在 地	電話番号	FAX 番号
1	小川町教育委員会	大字大塚 55	0493-72-1221	72-7144
	学校教育課	大字大塚 55		
	課長	〃	(内線 270)	72-7144
	学校教育担当	〃	(内線 274・275)	
	学校教育・教育総務担当	〃	(内線 271・272・273)	
	生涯学習課	大字大塚 55		
	課長	〃	(内線 290)	72-7144
	生涯学習・文化財担当	〃	(内線 291・292)	
	生涯スポーツ担当	〃	(内線 293・294)	
2	町民会館（リリックおがわ）	大字大塚 55	73-2711	74-5737
	中央公民館（リリックおがわ内）	〃	72-0342	72-0384
3	広域適応指導教室 教育相談室	大字高谷 2507-18	72-6859	72-6859
4	文化財整理室	大字靱負 1186	73-1346	
5	学校給食センター	大字小川 377	72-0673	72-2044
6	八和田小学校	大字上横田 527	72-3130	74-5162
7	小川小学校	大字小川 377	72-0142	74-5163
8	竹沢小学校	大字木部 90	73-1345	74-5165
9	大河小学校	大字腰越 209	72-0068	74-5166
10	みどりが丘小学校	みどりが丘 4-21-1	74-4381	74-5169
11	おがわ西小学校（R9.4開校）	大字増尾 250		
12	東中学校	大字小川 1767-1	72-0442	74-5170
13	小川中学校	大字角山 1192	72-1192	74-1102
14	大河公民館	大字腰越 43	72-0031	72-0031
15	竹沢公民館	大字勝呂 799	72-1174	72-1174
16	八和田公民館	大字上横田 1776	73-0548	73-0548
17	大塚コミュニティセンター	大字大塚 897-1	71-1061	71-1061
18	図書館	大字大塚 99-1	72-5965	72-3185
19	小川町総合運動場	大字高谷 141-1	74-2645	
20	武道館	大字高谷 2510	72-1221（生涯学習課）	
21	埼玉県立小川高等学校	大字大塚 1105	72-1158	71-1045
22	埼玉県立小川げんきプラザ	大字木呂子 561	72-2220	71-1043
23	道の駅おがわまち	大字小川 1220-1	72-1220	81-5656
24	小川学童クラブ	大字小川 377	74-4965	74-4965
25	星の子放課後学童クラブ	大字東小川 2-20-1	74-6509	74-6509
26	ちびっこ放課後学童クラブ	大字腰越 262-1	72-5902	72-5902
27	竹の子放課後学童クラブ	大字木部 150-5	72-5727	72-5727
28	杉の子放課後学童クラブ	みどりが丘 4-22-4	72-3404	72-3404
29	八和田学童クラブ	大字上横田 471-6	74-3711	74-3711
30	放課後子供教室おおかわキッズ	大字腰越 209	72-1221（学校教育課）	72-7144
31	放課後子供教室あこすおがわ	大字小川 377	72-1221（学校教育課）	72-7144
32	放課後子供教室みどりっこ教室	みどりが丘 4-21-1	72-1221（学校教育課）	72-7144
33	放課後子供教室やわたんフレンズ	大字上横田 527	72-1221（学校教育課）	72-7144
34	放課後子供教室こたけルーム	大字木部 90	72-1221（学校教育課）	72-7144

武蔵の小京都 おがわまち教育関係施設マップ



- 1 小川町教育委員会
- 2 町民会館・中央公民館
- 3 広域適応指導教室・教育相談室
- 4 文化財整理室
- 5 学校給食センター
- 6 八和田小学校
- 7 小川小学校
- 8 竹沢小学校
- 9 大河小学校
- 10 みどりが丘小学校
- 11 おがわ西小学校 (令和9年4月開校)
- 12 東中学校
- 13 小川中学校
- 14 大河公民館
- 15 竹沢公民館
- 16 八和田公民館
- 17 大塚コミュニティセンター
- 18 図書館
- 19 小川町総合運動場
- 20 武道館
- 21 埼玉県立小川高等学校
- 22 埼玉県立小川げんきプラザ
- 23 道の駅おがわまち
- 24 小川学童クラブ
- 25 星の子放課後学童クラブ
- 26 ちびっこ放課後学童クラブ
- 27 竹の子放課後学童クラブ
- 28 杉の子放課後学童クラブ
- 29 八和田学童クラブ
- 30 放課後子供教室おおがわキッズ (9 大河小学校内)
- 31 放課後子供教室あおこすおがわ (7 小川小学校内)
- 32 放課後子供教室みどりこ教室 (1 0 みどりが丘小学校内)
- 33 放課後子供教室やわたんフレンズ (6 八和田小学校内)
- 34 放課後子供教室こたけルーム (8 竹沢小学校内)

健康・スポーツの町宣言

緑と清流に恵まれた武蔵の小京都と呼ばれる私たちの町小川町、この美しい自然の中で健康で生活できることが私たちの願いです。

私たち小川町民は、ひとりひとりが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくるとともに、町民の交流を深め、明るく豊かな住みよい小川町を築くことを誓い、次の目標をかかげて、ここに「健康・スポーツの町」を宣言します。

- 1 すべての町民がスポーツを通じて、心身共に健康な人にならしましょう。
- 1 すべての町民がスポーツを通じて、多くの友達をつくり、友情の輪を広げましょう。
- 1 すべての町民がスポーツを通じて、明るい豊かな町を築きましょう。

昭和60年10月10日制定

令和 8 年度 教育要覧「小川町の教育」

発行日／令和 8 年 9 月

発行／小川町教育委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221（代表）

URL <http://www.town.ogawa.saitama.jp>（小川町公式ホームページより）

E-Mailについては小川町公式ホームページお問い合わせフォームより

